京城日報
二十八日夕刊
京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社

政友側の辭表形式は政策の相違とする
問題の陸海兩相は殉死しまい
對策に死物狂ひの政府

【東京電話】政府側では二十七日午前より首相、濱口、若槻、三木の三相及太田[illegible]、川崎[illegible]等を招致し情勢蒐集に努め一方政友系閣僚は首相と懇談協議し對策の攻究に腐心したが政府の知り得んとするは
一、政友會側閣僚の辭表の形式
二、陸海軍大臣の向背
の二點にあるらしく第一の辭表の形式は政策の相違を以て上奏し辭職を奏請しようとするものにある事を確めたもの、如く第二の軍部大臣の向背は[illegible]海相の方は政友側と行動を共にせず陸相の方は目下の所必ずしも政友會と殉死するものに非ざる事を確め得た如くである

總辭職の必要はない
憲政會の言分

【東京電報】政友兩派の提携は今のところ單に時期の問題と觀られてゐるが政友會がその退き際に就て如何なる策動をするか、それとも閣議に手を切るかについては可成り興味をもつて迎へられてゐる、然しその何れにするも總辭職することなく憲政會單獨内閣となるとするのは憲政會幹部の意嚮である、その云ふところに依ると現内閣は政黨聯立内閣であるから若し一派が脱退するも大命は三派に下つたものではない、我黨總裁加藤高明子に下つたものである、從つて加藤子は政友派の首領に入閣をすゝめたまでゝ若しその承諾なきに於ては憲政會單獨内閣の組織をみたに相違ない、又意見の相違する閣僚を更迭した前例を云ふ者あるも兩派首領は當時現政府の持續政策に共鳴したもので組閣後一年、政友系の責任に相違を來す我々の責任を負ふべきではない、要は協調を第一とすべき若し不可能ならば憲政會單獨内閣を確保してゐる

辭職理由を文書で上奏する
往年板垣伯の故智に倣ふ
政友側の作戰振り

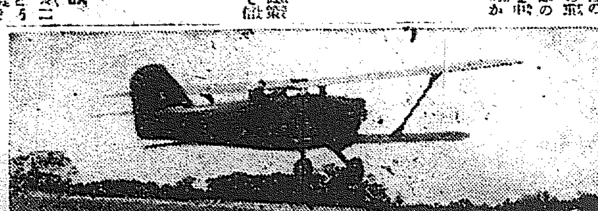
【東京電報】政友兩派の決裂は今や只時期の問題のみと一般に觀てゐるが、愈々正面衝突をなし政友會の大臣が脱退する場合如何なる理由を以て辭職するかは政治的興味上非常に注目すべき問題である、聞く所に依ると政友會の首領としては往年の隈板内閣に際し板垣伯が辭職に際する上奏を認めた例に倣ひ、政友會の主張する諸種の税制整理案と意見の大方針を文書に認め辭職を請ふの理由として上奏すると共に之を中外に聲明して政友會の態度を明かにすべく考慮中であると

賣られた喧嘩は買ふより仕方がない
◇…岡崎農相語る

【東京電報】憲政會は地租二分減政友會は地租委讓これが双方年來の主張であるから今回税制案として大藏省から内示されたものは政友會の主張なる私案に非ずして憲政會の案である、而して憲政會が自然之を固執して[illegible]我々の政策を[illegible]來るのであるから之を買はない譯には行かぬ、假し政友會は何時までも[illegible]喧嘩の掛合になる事は[illegible]から政友閣僚は深く[illegible]外に出るより外はない、そして[illegible]

總ては黨の態度を決めてから
小川法相談

【東京電報】税制整理案が愈々二十九日閣議に上程されるかどうかは[illegible]



壯途に就いた訪歐飛行機

攝政宮の御旅行中は内閣決裂を避ける
税制案の賛否は保留
閣員の進退は首相の裁量を重んず
政友會の具體的方針

【東京電報】廿七日大磯より歸來した田中政友會總裁邸には[illegible]務其他幹部協議の結果、[illegible]小泉氏は田中總裁を訪問し税制案に關く政友會の態度を如何にすべきか具體的方針を協議し小泉氏は[illegible]町[illegible]の官邸に岡崎農相を訪問し總裁の意嚮を傳へ、一方[illegible]の訪問を受けし小川法相は岡崎農相を訪問打合を爲し斯くて政友會の確定せる政友會の具體的方針は左の五項目であるといふ
一、税制案に對する政友會閣僚の態度は閣議前に於て豫め之を政府側に通告の要を認めぬ、但し何時にても閣議に上程するを妨げぬ
二、二十九日の閣議に上程の際は疑義を質した後賛否を保留す
三、幹部會政務調査會に附議の上政府案の賛否を決定す
四、攝政宮御旅行前及び御旅行中はなるべく内閣決裂等の如きは相互に回避すべき事
五、政策相違に依る内閣員の進退に關しては内閣の狀況に依ると雖も一に加藤首相の裁量を重ずべき事

攝政宮に政情伏奏
加藤首相より

【東京電報】目下葉山に御滯在中の攝政宮殿下には來る三十日の[illegible]その際、加藤首相は最近の政情に[illegible]みー應その間の事情を上聞に達し置く必要ありとし[illegible]中に伺候し[illegible]政情を伏奏すると

御慰問使に罹災者感泣す
廿八日は龍山方面を詳細に視察せらる

水野御慰問使は木下、江口、津田侍從水害地視察の為め二十八日は午前八時旅館朝鮮ホテル發、小田内務局長、時實部長、安藤道警察部長、間宮參謀、小山鐵道局長、久留島憲兵少佐等隨行、信田龍山署長の案內で龍山東拓倉庫の收容所にて[illegible]龍山女學校の收容所より三坂通り第二高女校庭の炊出場を[illegible]第二十師團司令部に至り[illegible]

遞信機關

…であつた[illegible]員の決死的努力に依り[illegible]し得た龍山無線電信局の[illegible]し龍山電話分局から[illegible]鈴木[illegible]し、慰問使は特に今回の[illegible]めた遞信官吏一[illegible]二千の遞信從業員の[illegible]遞信局長を[illegible]した[illegible]

徒歩にて

[illegible]兵分隊の被害狀況及[illegible]鐵道局長より詳細當時の狀況を聽取し第一人道橋附近から自動車を降りて烈日の下を龍山堤防を[illegible]一巡し當時の增水狀況等を聽取し龍山堤防傳ひに元町四丁目[illegible]

二十九日は市中視察

江口侍從は二十九日田中秘書官の案內にて左の日程に依り市中を視察されると
午前八時旅館發、八時十分朝鮮神宮、九時景福宮（博物館）十一時昌德宮、李王殿下に拜謁、[illegible]一周の上午餐、後三時パコダ公園、三時二十分朝鮮製糸會社、四時美術品製作所、四時半商品陳列館、五時半旅館着

特惠關税法施行
廿八日より朝鮮に

【東京電報】既報關東州の特惠關税は内地と關東州の間にのみ施行されて居たが今回愈々之を朝鮮及樺太にも施行することになり二十八日官報を以て左の如く公布の上即日施行する事になつた
大正十四年法律第五十一號は之を朝鮮及樺太にも施行す
附則 本令は公布の日より之を施行す
大正十一年勅令第二九五號中左の通り改正す
第一條中『大正十四年法律第二號』の下に『大正十四年法律第五十一號』を加ふ
附則 本令は公布の日より施行す

最低税率又は無税で
關東州生産品を移入てきる

[illegible]に就き田中秘書[illegible]の[illegible]は可成り久しい[illegible]であつ

一部改正された朝鮮阿片取締令
不正使用取引等の憂ひが絶對になくなる

二十九日制令第一號を以て朝鮮阿片取締令中左の通り改正された
第四條 第一條の許可を受けたる者の製造したる阿片は行政官廳の指定する期日迄に毎年政府に之を提出し其の鑑定を受くべし
前項の規定に依り提出したる阿片にして『モルヒネ』含量所定の度に適せざるものは無償にて之を燒却することあるべし
第一項の規定に依り提出したる阿片は第六條の製藥者に於て之を購入し其の引取を爲す迄政府之を保管す
第一項の鑑定に對しては朝鮮總督の定むる所に依り手數料を徵收す但し第二項の規定に依り燒却したる阿片に付ては此の限りに在らず
第五條 前條第一項の鑑定を爲したる阿片及政府の賣下げ又は交付する阿片は政府の封緘あるものに非ざれば之を賣買、授受、所有又は所持することを得ず
第六條中『製藥者に於て之を賣下ぐ』を『製藥者に於て之を購入し又は之が賣下を受くることを得』に『賣下を受けたる製藥用阿片』を『購入し又は賣下を受けたる製藥用阿片』に改む
第七條中『製藥用阿片の賣下を受けたる』を『製藥用阿片を購入し又は之が賣下を受けたる』に改む
第九條第一項の次に左の一項を加ふ
官衙又は官立の病院若は學校に於て醫藥用阿片を要するときは第十四條の規定に依る許可なくして外國醫藥用阿片販賣人に賣渡を請求すべし
第十條及第十一條中『第一項』を『第一項及第二項』に改む
第十六條 製藥用阿片を購入し又は之が賣下を受けたる製藥者死亡し、廢業し、營業の禁止若は停止の處分を受け、前條の規定に依り指定を取消され又は製藥用阿片を原料とする製造品の製造を廢止したるときは阿片及其の製造品の處分に關し朝鮮總督の指揮を受くべし
醫藥用阿片販賣人死亡し廢業し營業の禁止若は停止の處分を受けたるとき又は前條の規定に依り指定を取消されたるときは朝鮮總督の定むる所に依り阿片の買戻を請求すべし
第十七條 製藥用阿片の價格、第四條第二項の規定に依る『モルヒネ』含量の度及醫藥用阿片を醫藥用阿片販賣人に賣下ぐる價格は朝鮮總督之を定む
第十八條第一項第一號中『阿片製造の目的を以て』を『第一條第一項の規定に違反して』に、同項第三號中『給付』を『提出』に改む
『第九條第二項』を『第九條第三項』に改む
附則
本令は公布の日より施行す

税制と豫算は別々に審議
改付則の見解

政本合同運動中止を勸告

拮冠說は迷惑千萬
財部海相は近く打消す

【東京電報】政友決裂と共に財部海相は政友側閣僚と共に辭職するとの噂が世間に傳へられてゐるが海相は身命しても國防の重任にあるものが政黨の内紛に捲き込まれる如き事は絶對になく迷惑千萬であるから近く打消しの聲明を發表する筈である

海相は政友會と心中すまい

【東京電報】武內外務政務次官は一政友兩派決裂し政友閣僚が辭退となれば財部海相も亦辭職するだらうと傳へられてゐるが軍部大臣が文官制になつてゐない今日海相が政黨出身の各大臣と進退を共にし政爭の渦中に投ずべきものとは思はれぬ必ず局外中立を守るべきは其の管掌事項たる海軍に對して[illegible]の重大政策が解決せざる場合に限つてゐる依つて財部海相が政友會閣僚と共に進退を決する等はあり得べからざる事である』と

三相鼎座凝議

【東京電話】二十七日關西旅行から歸つた濱口藏相は午後一時四十五分又若槻内相は同五十分何れも首相官邸に至り[illegible]と鼎座し政府の採るべき方針につき凝議する處あつた

辭令

（廿七日付）
總督府技手 近藤 信孝
總督府技師敘高等官七等
朝鮮公立實業學校敎諭 由西 正
内務局勤務を命ず
任總督府技師 朝鮮公立實業學校長兼朝鮮公立
補[illegible]公立[illegible]學校敎諭（七等）
補[illegible]公立[illegible]學校敎諭
朝鮮公立高等普通學校 敎諭 堀内 明
任朝鮮公立高等女學校敎諭（六等）
補京城第一公立高等女學校敎諭
總督府裁判所書記兼
總督府裁判所通譯生 金 一 [illegible]

同 李 浩 呈
補總督府判事（七等） 金 一 [illegible]
補京城地方法院春川支廳判事 李 浩 呈
補大邱地方法院尚州支廳判事 岩谷 [illegible]
朝鮮産業技師に任す（七等待遇）
忠北道産業技師に補す
總督府道事務官 土師 盛貞
陞敘高等官三等
道立醫院事務官 長谷川太郎
陞敘高等官六等
專賣局事務官 高橋 彦一
道立醫院藥劑官 藤村 [illegible]
總督府事務官 水田 直昌
同 潮田 實朝
陞敘高等官五等
公立實業學校長兼公立實業學校敎諭 增村 [illegible]
公立高等普通學校敎諭 齋藤 惟一
公立實業學校敎諭 岩 [illegible]之助
陞敘高等官六等
公立高等普通學校敎諭 篠原 惟[illegible]
任公立高等普通學校敎諭（七等）
補全州公立高等普通學校敎諭

對山錄

[illegible]ち斯り易くつちや遣り切れないが中分のない千用照り、今年の農作物の被害は[illegible]は疑はれぬ。[illegible]大したことはなさそう。もう[illegible]めて呉れるな。
[illegible]罹災民は[illegible]を轉じて福となせと老總督はいつた。すべての財貨を失つても、殘されたものは不屈不撓の氣力であれかし。自然の暴威の[illegible]、一敗を止め得る中にも、[illegible]まで勝ち出づる道を見よ。その意思の力を見よ。
◇
[illegible]道は[illegible]外にない。
◇
かたじけなき[illegible]、[illegible]に答ふる道は復興にいそしむ外にない。
◇
[illegible]々あすか[illegible]閣僚、政友會の閣僚は賛成を留保し、[illegible]だけに止める方針に決つたが[illegible]の頭目岡崎農相は、賣られた喧嘩を買はぬ譯に行かぬといつてゐる。さてはどうか。
◇
大塚[illegible]長の初役、内府の命を受け、攝政宮に政局に關する何事かを奏上した。どうでした
◇
此の際[illegible]の[illegible]するのは[illegible]海陸兩相の[illegible]だが、[illegible]二人は政爭の渦中に入りはすまい。しかしどつちにしても一方からは怨まれるし、六かしい譯だ。
◇
木[illegible]張嚴。だが[illegible]は[illegible]政の[illegible]だらう。散々いぢめられたからと、元田老らしいことをいふ。」
◇
[illegible]内閣不可能の事情が供在してゐるなどゝ何處からか讒しやかに[illegible]。そんな事情はどうせ不公明な、[illegible]な性質を帶びてゐる。今の時代に、いへるなら言つて見るが好い。

天氣豫報（廿九日）
晴 一時曇

溫度	廿八日	正午
	最高	最低
廿七日		

火焔の舞
前田曙山 作
小寺耕 [illegible] 畫

（百三）

右門が悠然として落ち附き拂つた前に、江藤が背り切つて畏まるのは、生擒にされた敗將が、罪を[illegible]へられてゐるやうな、みじめな姿だつた。
『其處で拙者は、貴樣の眼を眼けて來る事をやめて、悠々と[illegible]のだ。といふものは、貴樣の行く先が判然と知れて居たからぢや。中禪島の龍大寺、彼處の寺男仙助といふ[illegible]を、貴樣が[illegible]してゐるのだ。仙助は[illegible]ら、眼眩んで長い間貴樣に[illegible]てゐて、更に氣が附かなかつたのだぞ。』
どうして[illegible]秘密まで知つて居るのだらうと、江藤は始めて右門が切支丹を使ふといふ事を[illegible]した。切支丹の妖術でもなければ人の腹の底まで見透す事はならぬ
『天から家の中へ入つて見れば、仙助が鐵砲で射たれて死んで居るなどと解らう筈はない、之は例の[illegible]の[illegible]らいたのかと考へて見たが、仙助の[illegible]を見あらはした處に、ズドンと逃られたのだ。[illegible]の[illegible]は貴樣の[illegible]だ。仙助の口から[illegible]の[illegible]が知れると思つて、手取早く[illegible]を止めたのだと疑つた。此處[illegible]は仙助へ逃げるにしても、[illegible]に[illegible]られた[illegible]をなほさなきやならない。乾度[illegible]い[illegible]の隱家を[illegible]と思つたから、手下の奴を方々へ潜込ませて、貴樣と見たらば、此處へ引張つて來るやうにさせたのだ。[illegible]の[illegible]奴にや金を與れて酒を飲ませて置いて有る。[illegible]は君[illegible]だが、酒と博奕が好きだ。そして[illegible]いて拙者が

のだ。
『處で貴樣は、先頃から彼處の寺の離家を、借りて居いた。貴樣が隱れるのは彼處だ。今度も乾度彼處へ納まると見當を附けた。拙者の睨んだ事に狂ひはない。朝になつてから勝大寺へ行つて見れば、門番小屋に誰も居ない。火は起し放しで立ち消えになつて居る。番犬も冷えて居たのだ。して見れば、仙助が小屋を出て行つてから、時がたつといふ事は、三歳の童子でも知れる事だ。すると仙助の行つた先は何處、いふ迄もない離家彼の隱い[illegible]、[illegible]の一軒家に極まづて居る夫から庭へ入つて行つて見ると、[illegible]の[illegible]は[illegible]へ向つた足跡が二人分つて、外へ出て來たのは一人しかない、之は恐へ撝ではないか。二人が入つて、一人が出て來た、貴樣か仙助か、孰方でもいい、一人は殘つてゐるのだ。』
江藤は頸へ[illegible]つた。[illegible]に細かい觀察で有る。丸で獵犬の鼻よりも
一寸[illegible]に化けて、貴樣を騙かしたと云ふ譯だ。貴樣の化け方にや及ばないかも知れない。[illegible]でどうだね江藤老人、[illegible]の[illegible]を持つて行きや、それは立派な[illegible]だ、地獄へなら直行ける。[illegible]へは少々むづかしからうかね』
得々とし[illegible]しかけた。江藤は[illegible]とする[illegible]いた。右門は[illegible]を、何處までも[illegible]して居て、最後の[illegible]れば[illegible]ので有る。
江藤は何とかして、此處を切抜ける工夫を考へて見た。然し右門の[illegible]の香餌にかけ[illegible]まされて、[illegible]つた[illegible]などは仲々[illegible]つたが、夫れでも[illegible]に一條の[illegible]を見出した。
『汝さん[illegible]も[illegible]つたって、田中茂兵衞の行方は知るまいが。』
『うむ田中氏か。』
『さうだ。俺が口を割かなきや、彼の男は[illegible]未代此世の中へは出て來ないぞ。』
江藤は[illegible]うして、右門の[illegible]を[illegible]み得たと思つた。

耐水強靱 レザー紙障子紙
衆議一決!!
本年の障子の張り替へにはレザー紙障子紙を使ふことに
レザー紙障子紙ハ左ノ特徴ガアリマス
ぬれても破れません
毎朝に日にやけません
光線が明るく丈夫です
張るに便利で體裁よく
日を經る程強くなる
是非一度お試用を乞ふ
全國信用ある紙店にあり
ぬれても破れず 日にやけず 部屋があかるく 丈夫で經濟的 レザー紙障子紙!!

各府縣農會激賞
優良 最新 旭式脫穀機
使用輕快、耐久強力 能率絶大、碎粒絶無
專賣 特許 旭式脫穀機 旭式籾摺機 旭式揚水機
（特約店募集）
製造元 合資會社 大阪旭商會
大阪市北區高垣町
電話北二三一七番 振替大阪三三六五番

天ノ印 健脾丸
正本家 京都府向日町
◎理髪屋泣かせ バリカン
特製 三圓八十錢 乙 二圓五十錢
大阪市[illegible] 油慶作所
求我堂 谷四世上田廣告

アクヌキ 新興からし
大阪天滿 乾物問屋 黑川與兵衞商店

ワイシャツ カラー 運動服裝
内地及滿鮮向
製造販賣 大阪市東區[illegible] 株式會社 足立商店
新聞名記入御申越の方に見本御送呈

牛、馬、犬、蚊ヨケ藥
牛馬アンミン 大阪[illegible] 清香園

御慰問使のバラック訪問 (左)御慰問使 (中)馬野府尹

水害を免れぬ二村洞

◇―國費で買收して住民は安全地帶に移住させる―◇

土木課で調査に着手

◇―宅地と なすも必要

◇―評價を

◇―國有と なすと云

制限給水をけふから解く

使ひ方が荒過ぎれば又制限を始める

庭球の御練習

在留邦人を相手にくつろがれた秩父宮

【倫敦二十六日發電】秩父宮殿下には廿六日當地在留邦人の御練習に臨ませられ小松侍從其他在留日本人を御相手に庭球の御練習あらせられた

上海のコレラ

日本人に發生

ます目秤目をごまかす商人

本町署の度量衡器檢査で發覺し處分さる

借金王

石定の公判準備

催促されて亂暴

各宮家から三千圓御下賜

水害見舞金として

今回の鮮内水害に 付各宮殿下御合同にて金參千圓御下賜相成りたる 旨賀陽宮事務官から總督宛電報があった

總督から謝電

洗浦駐在所襲撃事件

公判は來月一日に延期

澄宮樣が團長で大宮人の野球團

女官連の應援で宇都宮へ遠征する

救ふ者も、救はれる者も熱い涙にぬれた

鐵道病院の患者五十餘名はどうして助かつた?

今度の水害で死者五百名

倒壞流失二萬七千戸

郵便物

遞送復舊

罹災者の發病

二百間に百餘名

炊出飯の關係か胃腸病が多い

水害地を始め市民の衞生

治療機關を設けて各方面に分派する

美展委員

仰付らる

龍山局の復活は九月下旬頃

龍山電話の應急策として至急電話を取付ける

訪歐機太刀洗發

けさ八時十三分に

大邱上空通過

京城通過

榊博士取調べらる

元の乞食に立ちかへる

南山公園で鮮人の毒死

放蕩の果てに

娘を誘拐して醜行を強ふ

飲食店檢舉

交番の放火犯人

四人組の少年賊

機密書類の行方判る

大田胃散
盛んに賣れて居る胃病藥
實質本位
本舖 東京 大田信義堂藥房

急に暴落した
本場蚊帳處分賣

	六疊釣(六八)	八疊釣(七十)
本綿上製	三、八〇	四、八〇
改良太綿製	五、五〇	六、五〇
片麻特製	七、九〇	一〇、五〇
本麻極上製	九、八〇	一二、五〇
本麻縫目なし	一二、五〇	一六、五〇
本麻特別製	一四、五〇	一七、五〇

◇本品は決して一點の申分なき逸品にて
◇遠方顧客の御便利を圖りハガキの申込を受け代金引替小包にて急送す 賣切れぬ中に!
東京 關谷商店蚊帳部
日本橋區本石町一丁目

謝水害御見舞
京城府漢江通一五 龍山水産株式會社
七月二十九日より營業開始仕候

謝水害御見舞
龍山驛前 太陽館

白色くなる

ボーイ日台灣喫茶店

東亞牧場
李王職御用 全乳

開店
カフエー京城

賛化病院
京城明治町一丁目
内科 小兒科
古城憲治

大田電氣株式會社 弊社第壹回社債償還當籤公告
大正十四年七月
大田電氣株式會社

甲號	壹千圓券	貳通
1	23	

乙號	五百圓券	七通	
34	48	49	51
54	68	82	

丙號	百圓券	四拾五通	
1	79	288	390
4	81	299	398
6	124	323	407
7	136	324	444
12	140	336	445
14	207	339	450
33	210	342	456
35	230	343	467
38	248	450	502
57	252	361	
60	276	383	
71	286	388	

謹謝水害御見舞
今回の大水災に際しては各位の深厚なる御援助と御慰問を忝し孝深謝候何分混雜の際とて御芳名伺洩れも可有之不取敢紙上を以て御禮申上候
京城府元町二丁目八拾番地
日鮮殖産株式會社京城支店

謝水害御見舞
合名會社 盛陽社

富と力

招聘者
小宮萬次郎
松本小三
稻田庄次郎

御會葬御禮

詩壇の女王
―深尾須磨子氏―
大口義夫

（一）

日本の詩壇に一人の女王が居る愉快なことではないか？彼女の詩は、彼女が女王であることを、此の上も無い言葉で一ぱいな挨拶をしながら、絶えず自分から進んで説明してゐる。が、誰は彼女を女王として少しも窮屈してはやらない。否、端麗な女王は街の街にも常に群衆の中に住んでゐる。一體女王とは誰だ？『斑猫の囁き』の著者、深尾須磨子氏である。

（二）

彼女の詩作『美はしき虐待』一篇を紹介して見る――

私の耳をとらへうる
力強い似音で囁いて下さい
またはたのもしい次の音で、
その聲ばかりに傾けて待つ
するどい音波の耳なのです。

此れが冒頭の第一節である。彼女は憤怒と感激を喜び、有頂天を喜び、恍惚と無我の悦樂を憧憬れてゐる詩人である。さうして、

そんなにためらはないで鳴く人よ
一思ひに摑んでしまつて下さい
暇も與へず嘖めやうに
猛獸の樣なあなたの猛烈の手に
私は強れてしまひたいのです。
咲いてはひらがる
ひがん花よ、ひがん花よ。
跡む大理石の冷さをなつかしみ
はげしい陽炎を踊りぬく、
夢の、女王の、感燥です。」

と、此の一篇を結んでゐる。此の一艶を持つてゐる女性は日本では發ばれない。おきやんだ。おてんばだ。我儘だ。躍りあがり過ぎた手がつけられない。絶えず嘲笑と靴音が彼女を飾る。が、彼女は少しも躊躇をしない。反感と厭惡が彼女を猛々美しく育てゝゐる樣だ此處にも近代的女性の心の働きの一部分がハツキリと現はれるのである。

（三）

彼女の『斑猫の囁き』は數年前の處女出版であつた。彼女は常に多數の創作を雜誌『明星』に發表してゐるそれから雜誌『日本詩人』に時々と。

そんな此の女王の詩はどんなものであらうか？唯、一言で盡きてゐる。交際上手な佛蘭西婦人が持つてゐる挨拶の言葉である。時期的で大げさではあるが、一般に肺の少い賑やかな饒舌である。だが、惜しいことには、少くともそれは歐洲戰爭以前の形となつた戀だ。今では古くなつてゐる。彼女は躊躇をしないで、その古い時代の挨拶をどしどしと詩の形で押しいてゐる。

が、待ち給へ、此の愉快な女王は近く佛蘭西へ行くのである。だが、もう一度待ち給へ。佛蘭西に行く彼女は、昔の挨拶は役たないで、サッサと自分から女王の口吻で、ひどい饒舌な挨拶を繰して旅に出發するのである。彼女がどんな、新しい挨拶の型を教はつて來るものであらうか？此處に今度のフランス行きの興味がある。最後に近に彼女の詩作『樂戀』一節中の一節を紹介へて見やう

私の足が地を離れて
おゝ、有頂天よ
つひに來たのか
夢の中の夢をもつて。」
さあ、往還をはれ
かまり火を燃やせ
たまさかにめぐり会はせる

これは女性の樂悦だ。

深尾須磨子氏

女
居田花芽

『諸があると女に云はれた時には讃を期待せずに擁擁か慮無かを覺悟しろ』

美しい佛蘭をした有島さんの言葉である。

『女なんてもんはいつでも、何か知らに導かれて、支配されてゐるものがある。若し彼女が若かつたら戀人に、もし年とつてゐたら僧侶に』とショーペンハウエルも言つてゐる。

この二つの言葉は時折私に小さい戀愛を見せてくれる」

それは臆病な男が失戀するに決つてるといふことだ。そしてそれの反對に不絶なる拒絶なるものをやすやすと許して行くことだ。

◇――◇

『文明は自然と背馳して行く魔女は朧かしい太陽の光りの下に自由には躍り、戀をする代りに暗い家のなかに密ぎ籠められてゐる。しかし勿論彼女は朧にかけた十字架の下に小說を讀してゐる。夜の靜寂の中に鏡に向つてお化粧をする。彼の女の顏の美しさは、さうやつて隱はれて行く。突然、彼女はその家から連れ出される。何にも知らずに、それでゐていろいろのことを空想しながら夢見ながら……。一人の老婦人が彼の女に或る術を教へる。戀愛な管理か、彼女の耳に囁かれる。彼女は見知らぬ男の床に投げこまれる。そしてその男は彼女を犯す。そして、それが結婚といふものだ。文明の家庭といふものだ。』

ミュッセは結婚したかどうか知らないが、こんな事を云つてゐる。

◇――◇

これに反して森二郎氏は『結婚する男は女の魂を摑むものだ』と言ひ、魔女といふものを信じてゐないらしい

むしろストリンドベルヒの作品のなかに

『愛情を遮る為に結婚したわ』と言つて戀愛遊戯に耽溺してゐる女もあつたけ

◇――◇

『女と言ふものは人前では出來るだけ下らない音をきくを恐れるが、二人で差向ひになると、ぞんざいな聞き方を嬉しがるものだ』流石に放蕩家だけあつた里見さんは微妙な觀察をしてゐる。

◇――◇

『女が泣くのはもつと綺つて貰ひたいからだ』

戀愛推薦者ではなかつた谷のクノギ氏の言葉である。

絞られても貰いでゐる女は浮山不良嬌を知つてもどんなにかあるのも當然だらう。

放蕩者を戒める言葉に『女は魔物』があり、失戀者が諦め難く言葉に、『女は不可解』がある。さてこれ等に對して、有名な皮肉屋だらショウはどう言つたか。

『女に就て最大の謎は何故女が謎であるかと言ふ事だ』

ポルレーンといふ人は

『女を謎にしたのは男の罰さ』と言つて淡白と片付けてゐる。

渡り鳥
岡崎　田中初夫

河原柳よ
風ふけば風よ
老いた小枝に
鳴るとべば
あはれひらく
枯れ葉が散るよ
渡り鳥や渡り鳥
我身も渡る
河原柳も
故郷の風よ
吹けよ白い風
渡り鳥よ渡れ
遠い故郷に
渡れと渡れ

河原薄
―鳴森江

河原薄よ
河原の石よ
河原風ふきや
雨がほにちる
河原薄よ
河原の石よ
泣けて涙は
いつまで時雨

蛙のうた
富田蒼生

忘れられたる
過ぎ日の
たらちねの守唄
おもいいだそうよ
あゝいまぞ
われをして
そのかみの日の
まどらかなる夢路にさそへかし
忘れられたる
過ぎ日の守唄よ
蛙はよもすがらうたふに
―六、三深更つくる―

雨の朝（下）
上原千馬太

『こゝは俺の住處だよ。』

藤井はどつかと床の前に腰をおろした。見ると床の置物にも飾物にも支那内の唐布團にも驚きをかけた眼のちや、えにも酒盃があつた。銚子も盃も昨夜の歡樂の家のそれであつた。

『たあんだ。夢の家さんだわ』

斯う思ふと小萬はお座敷に呼ばれて居るに違ひなかつた。懐かしい顔ぶれの聲も聞える。甲高い調子の笑ひ聲も聞えて來る。

『あらうちの旦那ちやんが來て居るわ。』

と小萬は指摘きこえる唄聲に聽き耳を立てながらやうやく職業的な調を取返して云つた。

『あの娘いつ聞いてもいゝ聲ですね。』

その聲の主は藤井ではなく贔屓の藝者さんだつた。すると何時の間にか其處に鶴藤の藝者がすわつて居た『まあ藤さん何時來たの』

『先刻から來て居ますよ。何しろ此の雨ぢやとても歸れませんや』

『あら。雨ぢやないわ。あの音は水車よ』

『さうですかねえ。私は雨かと思ひましたよ』

『私もさう思つて心配したのよ。所が藤井さんが水車だつて教へて呉れたんだわ。だけど、藤さん。私が此處に居る事がよく解つたわねえ』

『御宅に參りましたらこちらだと聞きましたので』

『さう。ちやあ、時間の持つて來て呉れたの…』

『持つて來ました。これですよ』

見ると何時か三味の箱が置いて目に止まつた藤物の新撰だつた。

『いゝわねえ。』

『この位の品はちよつと御座いませんよ。』

『ほんとにいゝわ』

と小萬は床に飾り袖にかけたりして眺めて居た。

『家に入つたら買つておいたらいゝぢやないか』

藤井は鷹揚に斯う云つた。

それから小萬の欲しいと思ふものは何のさはりもなく買ひ與へられた。廻りすがりに目についたコートも綺麗も寫眞で見た簞笥も置物も参ものも見のものも踏みどころのないまで座敷に積み重ねてあつた。これからは自分の品ばかりだから汚しても破れても氣遣ねんかする事はないのだと思ふと嬉しくてたまらなかつた。いやな藤井も何となく懐かしい人のやうに思はれ出した。

小萬は目のさめるやうな美しい綾物の中で藤井の腕に抱かれて居る自分を見出した。

『嬉しいかい。』

と男はいつた。

『えゝ。嬉しいわ。こんなに澤山買つてもらつたんだもの』

『そんなら昨夜のやうに嬉はないだらうね。』

藤井は尖腰に腕を廻し掲げをしようとした。

『待つて。待つて。』

彼女は懐然として男を突き退けた男はなほも執拗に追つて來る。彼女は顔をそむけて、逃れようと焦慮つた。『よし。そんなにするなら俺はもう何にも知らないぞ。此の品物だつてみんな返してしまつてやる』彼女は遂に拒む事が出來なかつた。そして觀念の眼を閉ぢて居た。

× ×

『藤ちやん、開けてもいゝ？』

襖の外に女將の聲がした。

『今。いけないのよ。一寸待つて』

と小萬は斯う返事をして藤井を押のけやうとした。男は何くまでも抱き締めた手を離さない。

『女將さんが來て居るぢやないの離して。』

『來たつていゝぢやないか。見せつけてやればいゝよ。』

と男は云つて益々強く抱きしめて來るいくら何でもこんな處を見せるのはいやだと思つて押しのけやうとしても手は些しも自由にならない。聲を立てやうとしても聲も出ない。

と、襖のあく音がして足音が枕許で止まつた。

『とう／＼見られたわ』

と思ふと顔が火のやうに熱くなつた。……

『萬ちやん。もう起きたらどう？』

女將は斯う云つて雨戸をあけた。白い光がさつと座敷一杯に流れ入ると小萬はふと夢からさめた。今の今まで擁ひかぶさつて居た藤井の姿は何處にも見えなかつた。そして其の家の小座敷にめく／＼と寢て居る自分自身を意識したのである。

『ずる分寝坊ね。萬ちやん』

見ると正しく枕許に女將が坐つて居た。小萬には何處までが夢で何處までが現實であるのか解らなかつた。

『あら女將さん。やつぱり其處に居たの』

『何をいつてるの。寝ぼけちやいやよ』

女將は枕許の數島を拔き取つてマツチをすつた。

『おかしいわねえ。藤井さん何處へ行つたのか知ら』

と小萬は不服さうにつぶやいてくるりと寢返ひになつた。

『藤井さんは雨が降り出すとお歸りになつたわ。よく眠つて居るから起さないで居て呉れと云つて二時頃だつたでせう』

『さう。ちつとも知らなかつたわ。あらほんとうに雨が降つてるのね』

『雨の降つたのも知らないの。これはおどろいた。さつきまで土砂降りだつたよ』

『さう。知らないわ。何でも夜中で一度目をさましたけれど早いやうだつたから又寝ちやつたの。それがおかしいのよ。私、家で寝て居るとばつかり思つて居たの。とこが騎吉姐さんが居ないぢやないの。あの人と私は朝寝の雨大關なんですもの。だのにおかしいと思つて居るうちに眠つてしまつたんだわ。』

『しつかりおしよ。ほんとうに』と女將は笑ひながら打つ眞似をして

『又寝ちやいけないよ。御飯も濟つて今日は一緒に家で御飯をたべようね。それに少し話もあるんだから』

と云つて女將は出て行つた。

小萬は暫く寢返ひに腹ばひたまゝ數島に火をつけてゆるやかに吸ひ始めたさま／＼に崩れて行く紫色の煙が誰らく空間にさまようて經緯くなびく、細い一線になつてすつと窓の中に消えて行く。

小萬はしと／＼と雨樋をゆるがせて降る雨脚に目をやりながら逃ましく墜ちて行く自分を淋しむ心に締らされて居た。（大正一四、五二六）

短歌

湖畔吟　藤尾

朝霧るここの湖水に夜ひらの一艘
散れば數多つづくも
藤ひをば秘めたる如き一本の落に
そむきて逆しらに吹く
離らひてしみじみと聞く湯の磯邊
へかねたれば湖を想くも

病床雜詠　後藤若仁

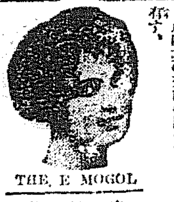
今はしも部屋のうちに篩つる春の雨
縁の皮も棄てかねつをく
ずまぬ六夜の月の陰びにさすらひの身
をはかなみて嘆く我かも
いさゝかも死など思はず穩やかに
みまかりし友の戀ばらしかな
この世にてはたさぬ望み次ぎの世
になしとげんなど病は身にさみし

つれ／＼　壽部　以久子

那れ來て二年たちぬ百合咲くか
の校庭の今日はなつかし
わが想ひ空にとゞけと響くかに歎
きの鐘ぞ鳴りやまず

醫學博士　渡邊　晉
皮膚（皮膚病一般、髮毛、手術）
泌尿（泌尿器科一般、尿道狹窄）
性病科（黴毒、淋病、下疳）
診察時間　前九時ヨリ午後一時　午後四時ヨリ七時
但シ日曜祭日ハ午後四時ヨリ
入院隨時
京城　黄金町二丁目一九八　日本生命ビル裏角
電話本局八九四番

生の復活悲觀より樂觀へ
精力 活力の源泉
十日十回就寢前服用のエモゴールの作用
生殖器の障害
生殖器性神經衰弱
婦人性的缺乏
老者も若返る
壯者は益々強く
無上の爽快味


THE. E MOGOL
定價　十回分金參圓　廿回分金五圓　四十回分金拾圓　百回分金貳拾圓
發賣元へ御註文に限り小包料不要

御註文の方法
發賣元へ御註文の御方は右記定價を郵便小爲替か振替貯金で御送金下されば直ちに御送致します。又代金引換小包も取扱ますが、これは金井錢丈け郵便切手で前金御送りします、代金より此井錢は引いて發送致します

大日本總發賣元
柴崎仁壽堂大藥房
東京本店　東京市本郷區駒込神明町
大阪支店　大阪市東區本町一丁目
京城支店　京城府黄金町一丁目一八五

醫學博士　院長　佐藤病院
佐藤小五郎

員に是れ我蓄界に新記元を劃する優秀品
世界的最大の販賣力を有する
瑞西製　オートホン號蓄音器

（ダーズネツク式）
A型　六拾五圓
B型　七拾圓
手提型　五拾五圓
●多數纏めての御用命の向へ月賦拂の御相談に應ず
京城本町二丁目　セヤマ樂器店

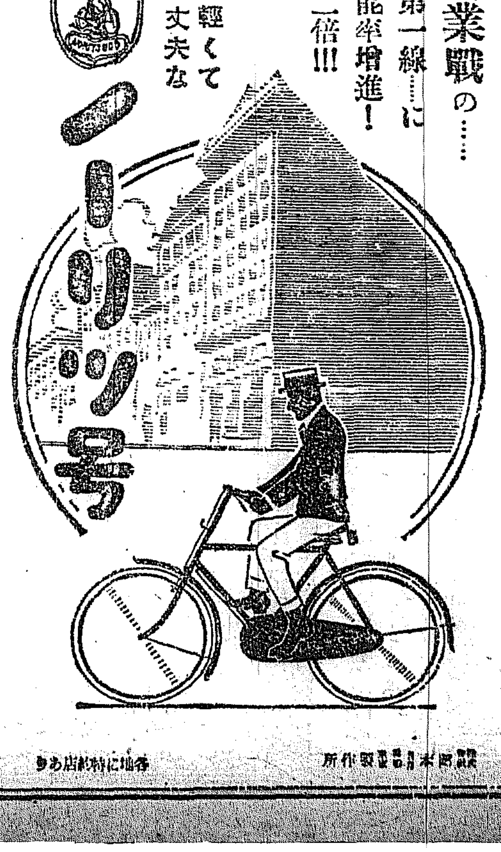
肺病の安價療養法
相州小田原新久海岸　自然療養社

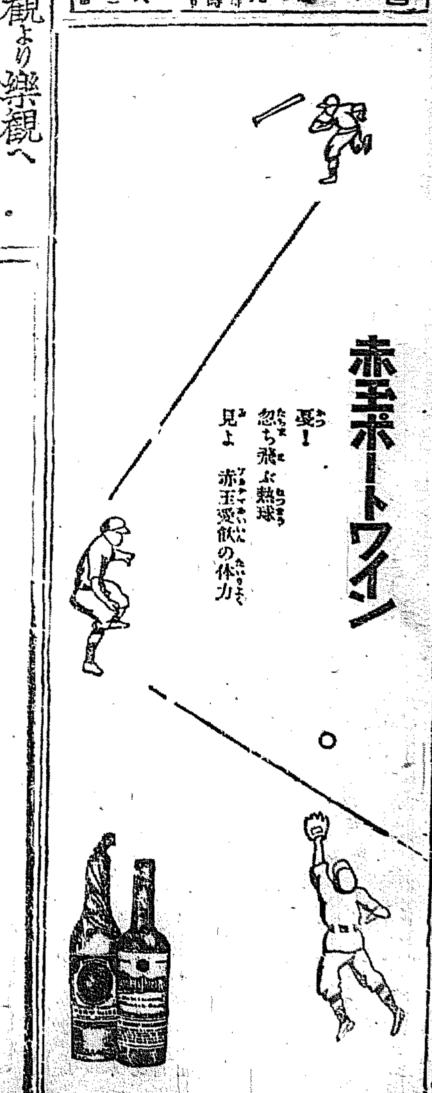
水害地の畑作に
秋蒔大根をお勸めする
優良種澤山準備あり
罹災の方には特に値段大割引
平壤　内田百花園

りん病　定價（特別並）
有田音松鑑製
請合藥
ばい毒　定價（特別並）

百圓進呈
歐米醫科大學
帝國醫科大學
有田ドラッグ
滿鮮發賣元　京城南大門通三　有田ドラッグ專賣所

にせものにおりスクラドにグッドラドにグッドて專賣所　有田音松謹製御取扱


商業戰の……第一線に……
能率増進！
二倍!!!
輕くて丈夫な
ノーリツ號
各地に特約店あり


赤玉ポートワイン
要！
忽ち飛ぶ熱球
見よ　赤玉愛飲の體力

水禍の後 春川本町筋

惨憺たる江原道の水害

道路橋梁殆んど全滅 ◇―惨害全道に亘ぶ

【春川】今回の江原道地方の水害は近年稀な慘状で各地の道路橋梁は大部分流失破壞し其損害は約四十萬圓に達し江原道の如き殆ど道路の原形なく溝谷と化し一の小路も完全に流失したものもあり全部を修理復舊に二十五萬圓を要すとのことで公共物の損害は二十萬圓に達し又被害は溺死三十八名家屋の流失四十戸全潰一二〇戸半潰一二二四戸床上浸水一、三三二戸であるが此數字は四十四附近を中心とした各郡の損害のみで各郡の被害は益々増加すべく目下調査中である

水害救済本部特設

道内の水害救濟の爲に道廳内に救濟本部を設け郡廳及面事務所との聯絡を執る爲め道廳内に救濟本部なるものを設け罹災者の救濟、衛生、警察、保安の四係を置き知事指揮の下に内務部長之に當り部長以下の救濟に努める事になつた

救済義捐金募集

被害民救濟の爲道廳員は各自俸給百分の一乃至百分の六の義捐金を醵出することゝしたが道評議員各位に於ても之に共鳴し既に六百餘圓に達したが、地方有志(内地人

◆六日は一日八日、最後の物價騰貴を以て一萬物價の騰貴は本月中に先づ一割を寄附せしめる者もあらうが物價の高騰ありたるを以て市内商店に就き價格を調査し此の際に於ては朝鮮米精米一等石四十八圓乃至四十六圓、同二等四十三圓乃至四十二圓、粟二等六圓乃至二十五圓の價格を定め一般に公示した

春川邑内の物價は米價は僅に二ケ月位は支へ得るも醬油は一ヶ月位又は四五日を支ゆるに過ぎない

◆江陵死亡六人家屋全潰二九戸浸水一〇〇戸

◆三陟死亡一人家屋浸水一二戸

◆蔚珍死亡二人家屋浸水五戸

◆原州家屋流失一六戸全潰一〇戸半潰四戸床上浸水四戸

◆横城死亡二人家屋流失一戸全潰

六戸

◆麟川家屋流失五戸全潰一四戸半潰三一戸浸水一〇〇戸

◆金化死亡二人家屋流失五七戸全潰一二戸半潰三六戸浸水五八三戸

◆鐵原死亡二人家屋流失六戸全潰三戸浸水一五〇戸

◆平康家屋流失一戸全潰二戸

◆高城家屋全潰一戸浸水一〇戸

淮陽伊川郡には大なる被害なき見込なるも旌善、寧越、平昌地方の状況判明せず相當多大の見込である

仲坪港に 朝郵船寄航

【清津】明川郡上古面仲坪では漁業者に對し從來朝郵船の寄航方を交渉中であつたが本月上旬から城津、端川、新浦、群山、海州の三寄港され、繁榮を期待して居る

南江治水事業

晋州陳情委員出發

【晋州】長澤郡長河水佐太郎、上原三四郎、安藤鐵雄、金甲淳の五氏は郡當局に對し陳情の爲め二十六日午前十一時五十分晋州發車で市民多數の見送りの裡に出發した主なる要件は南江治水事業の速成に關する

慶南水害被害

總計一千五百萬圓

農作物の損害八百二十萬圓

【釜山】水害による慶南道の被害は豫想外にはなはだしく道廳に屆出でた報告によれば總額一千五百萬圓でその内譯をみると農作物の被害八百二十一萬圓河川道路二百二十七萬圓家屋二百二十萬圓及水利組合これが工作物被害二百二十三萬圓に上ると

江界まで

二 平壤支局H生

平壤所在江界行き自動車は男二婦人一と外に後部客席に郵便行嚢かぎつしり積まれた滿川江に添ふて上れば眼前が立籠つてゐるといふ分水界の狗峴嶺に差掛る上下三里もある嶺で江界までこれに次ぐ嶺が二つ三つもあるといふ部落に入る毎に警察官が飛んで來て郵便物を受取る沿線の道路はこうしてとられてゐる道路や橋梁は目下改修中で自動車の動搖は激しい

× ×

狗峴嶺を下ると今度は禿魯江に添ぐ禿魯江に添ふて走る途中毀色或は悠々と流れる禿魯江は道路に添ふた長い街で中央右側に警察署郵便局面事務所普通學校と相ならんで建つてゐる距離と水に時々襲はれる處であるが今年はとんと被害がないといふ江界に着いたのは午後二時近くレコード破りの早着だつたと云ふがそれが爲め五錢は禁の營業所に著けば自動車部から郵便行嚢三個紛失したが知らぬかと追掛けて來る後から開けば下り自動車が拾ふて熙川へ持ち歸つたとの事

× ×

江界は國境重要の都市を以て任じてゐるだけ可成り大きい市街で後に南山の松林を負ひ前に禿魯江の清流を控へ山水の勝景に惠まれた懷かしみのある而して新しい建築物の多い都市である戸數は内地人一四七戸鮮人一、五五二戸支那人二二戸西洋人三戸人口は内地人四七七人鮮人八〇五五人支那人八九人西洋人一〇人重なる建物としては江界郡廳を始め面事務所、警察署、法院支廳、營林支廳、税關出張所、守備隊、郵便局、江界警察署、分隊、小學校、普通學校、幼稚園、郵便局、專賣支局、殖銀支店、金融組合、電氣會社等それに最近江界神社も建築され多大なる建築費を投じて新築された最近土地有志が相集まり

て江界發展の先驅者故邢上忠之助氏の石碑建設に就て協議の結果近々來月中旬頃建設に邑内に大碑を建設する事に決定した

同氏は雲州松江の人明治三十九年二十一歳の時奮然志を立て渡鮮し同地には約十年前迄軍御用商人として來たのである、そして明はら士木請負に雜貨商にとある方面に活躍し蓄財を成すに至つて施々公益事業に盡瘁し小學校の御設置を始め交通機關の完成、市内電燈設備、内鮮融和事業等江界發展の先驅者として功績しつゝあつたが大正十二年九月腎臓炎の爲め京城に出て不幸病院に入院加療中なりしも經過面白からずして同月二十五日三十七歲を以て遂に永眠したのである氏逝きて三年在留鮮人は其任俠と公徳を慕ひ永遠に其徳を、それと今日の繁榮に出でたものであふ。

さき子未亡人は常に故人の遺物を座右に遊べ貞節を守り生前の業を繼ぎて同地に永住する故亡夫の素志にして唯一の勸識であると堅く殘つてゐる遺子は未だ幼稚の江中學校の三學年在學中なるを以て義弟松尾實次郎氏が專らこれが補佐として依然家業に勵みつゝある江界其後の發展は猶かつて同氏の力に依るものであると

奉天側の

炭坑政策

滿鐵炭業政策に影響せん

支那側が奉天に自給自足撫順自立を計畫し着々それが實現に向つて努力しつゝあるは極めて顯著なる事實である彼の石炭政策の如きも第一次の奉直戰後從來專ら支那側の撫順炭を先たしつゝあつた撫平炭は京奉線の兩分によりて奉天市場に現れず爲に一般市民の蒙つた不利不便は甚大なものであつた、京奉線奉天の勢力下にある奉撫線の如きは全く撫順炭によりて運轉をせねばならぬ事となつた、その他奉天の官民各工場も然りであつた、支那側としては此の必要なる石炭を日本側に仰ぐと云ふ事は便不便以外に自足自給と云ふ見地から撫父その他の鄰山から運炭しようと苦痛として居た處である、然るに今回計畫中の奉海線の第一期工事たる奉天撫順間の開通は是非でも本年中にはとの意氣込みであると同時に此機會を利用して石炭政策にも手を染めるべく決定しの彼の撫順炭坑附の阿金溝炭山を奉海鐵路公用にて二百萬元にて買收し此設備の改正設備を行ひ先づ奉海鐵路使用炭及京奉線其他一般の需要に資せしむる者であるが今回の大水災は明かに其必要を物語るものにて道内の鐵道に關する重要問題として是非其目的を貫徹すべく意氣込んで居る尙開通期間新市街建設工事の接續問題に就ても除外を為す筈である

が開通期間市街建設計畫に就ては當局の態度未決定の爲め同地域に於ては建築中の工事を中止する者ある状況にて當州當局の問題として當局に對して陳情をする豫定である

(註)撫順方面供給をなすべく計畫して居るが其第一期計畫としては先づ現在の一日撫掘二百噸を五百噸に增加すると云ふ事である、阿金溝の埋藏量は知らぬが既に其附近も買收済みであると云ふから一般的に炭坑經營方面の事情から推察して相當の炭量のあるは爭はれざる處であるから撫順炭の狀況如何によりては滿鐵の石炭政策の一端には多少の影響は免れない處であらうと。

奉天秋季競馬

【奉天】奉天競馬俱樂部の秋季大競馬は來る二十九日三十日及び八月二日の四日間滿鐵附屬地競馬場に於て擧行される筈であるが大連初め沿線各地より出場すべく來奉せる馬匹五十餘頭に二十四日頃古より來奉せる新馬三十頭を加へ八十餘に上るべく騎手其他の練習準備に繰習急りなく練へつゝある目下時期は恰も暑中休暇中ではあるが前景氣頗る良好である、因に馬券は五圓二十圓の二種である。

大連商議總選擧

◇―佐藤派最も優勢

【大連】既報の如く大連商業會議所第十回定期總會は二十四日午後三時半から商議所樓上に於て開かれた出席者九十二名委任狀百五十九通有無効十二で有效數百四十七通相生會頭議長席に就き事務報告、財產目錄、會計報告通り可決され當日の問題たる常議員四十名補選一名選擧の件に移り藤崎議長より選擧用紙の形、自己投票を認めた以外の投票無効、同點者ある場合は年長者に認められたきこと等を諮り異議なく、可決直に記名投票を以て選擧の結果は左の如くであるが是に依ると藤崎古澤派に屬する候補者は何れも枕を並べて打死にし佐藤派が既報して配付した候補者の顏觸れが悉く當選したから會頭候補戰は佐藤派の勝利に歸したものであるが此四十名の内十一名は石橋派何れも之を推選したものであり外に在佐中の當選者九名を加ふるときは會頭候補左選と樂觀を許さぬが如きも該選擧の結果は未だ容易に佐藤派のものと極るまい以下の常議員の選擧の前後古澤佐藤兩派の爭議の和議成らず遂に爆撃を決した範後の議事から考へると當然會頭には佐藤氏が當選し副會頭には同派の參謀たりし進和商會の田友吉氏外は大連汽船の坂本眞次郎氏の一名を推し他の一名は古澤史作氏若くは中立の内二名の有力家を左選するに至るかも知れぬ模樣である因に會頭一名、副會頭二名の互選は八月二、三兩日頃常議員會にて

▲當選者 古澤丈作、石田總助、相生由太郎、村井啓太郎、堀謙、平島貢太郎、三島清一、井上常太郎、乙竹茂郎、瓜谷長造、長谷川辰次郎(以上十一名兩派の推選したる候補者)佐藤至誠、向井忠、竹松、塚本貞次郎、高田友吉、原田耕一、舛田憲道、村井啓次郎、丘襄二、井上維夫、森與文、中村敏雄、荏岡十波、山田三平、松村久兵衛、佐治大助、鈴木幾雄、今中良、袋布要太郎、平田包定、古財治八、小澤太兵衛、恩田鐵彌、中村繁次郎、稲常誠、伊藤潔、福田顯四郎、小田斌、小川國次郎

▲補缺當選 何田条太郎

外に特別常議員推選に決定せしもの五名遞信局長櫻井學、大連取引所長田中遂介、滿鐵埠頭事務所長市川數造同鐵道部長藤根壽吉、同興業部長岡虎太郎

成る第一回の役員會を開會して之を行ひ即日關東長官に認可を申請すべく豫想さる

大阪商人はズルイ

綠棉係爭問題に就て ◇―齋藤精米所側の言分

【鎮南浦】鎮南浦齋藤精米所對大阪伊藤綿行の綠棉係爭問題につき齋藤精米所では右取引を行つたのは本年一月中のことで同月二十七日鎮南浦より豊前丸で發荷し六月中伊藤綿行から突然値引の交渉を受けたもので實際迷惑千萬な話であると云つて居る右綿花は伊藤綿行より日本綿花へ轉賣され一旦大阪へ陸揚げしたものを鹿兒島へ移送し同地で荷解きの際發見したもので日本綿花から値引の要求が起つたので伊藤の方では齋藤へ其責任を轉嫁させやうとしこゝに兩者間に爭ひを生じたものである齋藤側では受渡し後六ケ月も經過し殊に大阪より鹿兒島と轉送され其間における運送及び保管について果して萬全であつたか判らないものに對して責任を負ふ道理なしとして拒絶したものであるが之れも雙方の間に示談が出來た事に角是まで大阪の棉商が朝鮮の出荷主に對し随分苛酷な策略を弄して居るのは事實で幾般の事情は各銀行に就き荷爲替の支拂振りを調べても判明するといふて居る

成北地方

豐作

明川も良好

【清津】本年成北に於ける農作物は播種期より開花に至る間に天氣つゞきで收穫に惡い影響があるかと危まれて居たが近來降雨順調にて平年作よりも全體を通じて約一割乃至二割の增收を見込まれて居る、尙明川は之れ以上の良成績にて約五割以上の收穫を豫想されて居るから來る新穀出廻り期には相應の取引があつて相當に活氣を投ずる見込である

露國銀行再開

【奉天】歐洲大戰以前奉天大南門裡に開設されて居た露國道勝銀行支店は右戰後の爲め閉鎖今日に及んでゐるが最近露國東清鐵道本家により同銀行支店の再開が計畫され

▲營口取信の拂戻し 營口取引信託會社にては去る二十二日定期總會を開き清算人より種々の報告ありハ月十日前後に於て一株當り一圓三十錢位の拂戻しをなすべしと

大體は價下げ

批難の餘地は無い 紅松朝鐵大邱出張所長談

【大邱】朝鮮鐵道會社の運賃値下に付いて大邱商業會議所側で批難の聲がある如だが果して夫れは如何なる點であるか會社としては此の值下實現に付いては今日まで慎重考慮の結果であつて敢て會議所側の唱ふるが如き批難の起るべき筈はないと思ふこの値下に付いては總督府の認可を得た上で實施したものである會社としては從來の運賃は各鐵道に依つて夫々異り不統一の爲公衆の不便勘からず然るに今回は内鮮共に一貫した統一的の運賃率に順應したのであるしかも運貨は五級品目に入れて從前の如きは五級品目に入れて從前よりは遙かに低率となつたもので尙尤も直接公衆の生活品の多數は五級品に限られ實に全體の八割は五級品であるから此の多數品目に對しては運賃を値下げしたのである即ち今回の値下は品種中約八割は値下された譯である、唯四級以上の品種中に或は從來より幾分値下のものもあるであらうが四級品以上は特殊品とも云ふべき品種多く一般公衆の爲には影響が勘い事に大邱府の一部階級者のために四級品以上が值上げになつたからとて會社の根本方針たる三鐵運賃統一の目的に反するが如きことは不可能である、又營業哩數の增加は内鮮同樣の規定に準じたもので遞距離になればなるほど運賃は遞減された譯である唯大邱近項の如き短距離のみを以て一部的に論ずるは妥當でない

營口雜俎

―◇―

▲營口の豪遊客 本月中旬なる西澤金二氏は來る三十日北京及上海より營口に到着する旅行一日程を營口へ入港の旨通知があつた

▲營口の傳染病 營口にて目下猩紅熱患者五名あり何れも隔離病舎に收容され居れり

▲ラヂオの出現 (以下不明)

天下一品の精・力・素

平安南道に棲息する貝が吹き出す妙な形のもの

【鎮南浦】平安南道の山奥地方に滄羊藿と稱する靈草あり本草を服用すれば精力を得ると云ひ朝鮮人參やトカビンの及ぶ所に非ずと唱へられてゐるが今又本草に勝るとも劣らぬ精力素があると一部人士の人氣を集めてゐる、此れは黃海道殷栗郡二道面龍岳龍岡郡平安南道鎭龍地方の海に棲息するミル(朝鮮名ツジレギ)と稱する貝でアゲマキに似てゐるものである此貝は海底に棲れ水管と稱する妙な形に似たものを吹出す由で此の水管を乾燥して乾燥したものが頗る好の精力素だとうである、本品の效能は一部人士には既に認められてゐる所で當地の保健當局は數回に亘つて總督總監に贈呈したと噂へられてゐる

南滿製糖

邦人職工の紛擾 志倉專務の進退如何

【奉天】思へば冷いとか何とか一般からも好奇の眼で見られてゐる南滿製糖會社の志倉專務さん、邦人にはは支那人職工の罷業に閉口して近く辭任すべく決心して他方面に椅子を探してるとか噂へられて居たが又々南三日邦人職工の増田某が事態を見て會社の態度を責めたのが動機となつて全邦人職工は結束して立ち愛又々一大紛擾を惹起したので大迫庶務課長は早速善後策を講じ職工側と諮詢の交渉を重ねてゐるがまだ容易に解決を見そうにはない、從つて志倉專務も北五日には朝鮮經由東上の筈であつたが其為一時中止して經過を見た上で東上の事となつた專務さんはドーするか……

奉天駄話

―)○○○(―

▲近來議論とか覺悟とか議論の爲めではトンと増加した、是は世の中の不景氣に因る現象▲と云ふのは例の遊興税反對の運動最中、東京方面には教育會や國學院大學の校友が遊興稅撤廢等に▲一方士官學校生徒の方では士臺のものにやらしてと云ふ譯は奉天大和ホテルの建築に就いて議論▲それに對し金議旅館業組合と懇談の紛糾で大和ホテルを此の不景氣の際に建築されては困ると云ふので中止の請願と來た▲誠に世は様々、だが滿鐵の建築するホテルの中止を請願する事はチト見當が外れては困りませぬか▲ホテルの建築は三年の後ですが世の中はマサカ

平山郡面長會議

【平山】平山郡にては二十七日午前九時より郡廳に於て郡下各面の面長及び面書記一名宛を召集し各般の事務十六項及今回執行さる國勢調査に關する打合會を開催した(南川)

營口雜俎

―◇―

▲三人組の出現 營口の警察署が三人組と認定して手配した三人組は公州にて逮捕せられ、原田司法主任の嚴重な取調を受けて居た元山府猪石洞一四五番地某外二名と云ふ不敵の曲者は二十三日朝一件書類と共に身柄を元山支廳檢事局へ送られた

▲京城高商の營業團一行は稻村保三郎教授引率の下に二十四日朝來元、元山商工會議所及び元山府主催の歡迎會に臨み後援の下に樂ケ丘小學校で講堂に於て音樂會を催したが聽衆頗る多く大成功を收めて二十五日朝離城した

▲元山の此不況が續きは致しますまい▲それ程不況が深く深刻なので現在の旅館業は勿論一般住民も生存を中止せねばならぬ事になりませうから、中止などゝ云はないで積極的に進んだりぐ

元山の

海水浴賑ふ

【元山】各學校の暑中休暇と共に京城方面各學校が臨海教育のため登山、小遊游する松濤園の海邊でテント生活を初めて居る京中は二十五日來京、龍中は二十七日京城第二高普校は二十八日來元した

岡本氏引責辭職

既報の大邱府學校組合議員會議の流會で組合議員岡本茂次郎氏は『學校組合を利用して北海道を圖るとの要求は否定するよ二の何の故で多數委員に對し迷惑をかけたることは自己の不德として一切の請責は當然辭職に一任する』との旨を發した、同氏は近く正式に辭表を府尹まで提出すべしと(大邱)

仁川教育會講演會

【仁川】仁川教育會では夏期講演會として早稻田大學の永井柳太郎氏、阿部磯雄氏、中島半次郎氏の三氏を招聘し八月二日講演の豫定であるが今回の水害により期日は少々延期するであらうと

咸南教育會總會

咸南教育會では來る八月八日元山咸興兩小學校に於て、會務報告、會員の研究發表、長根本府總督府の講演等のプログラムに依つて定時總會を開催する事になつてゐるが會員以外の研究發表希望者は八月五日迄に、意見提出者は開會前までに申込まれたいと。

機關士講習會

咸北水產會では石油發動機機關士講習會を開催中であつたが二十五日を以て修了したので之れが修了證書授與式を二十六日同所で擧行し式後簡單なる祝宴を開いた(浦項)

地方人事

▲磯野忠北内務部長 二十四日より陸城忠州方面へ出張(清州)

▲赤池濃氏(貴族院議員)二十五日バイカル丸にて歸京(大連)

▲尾見薫博士(滿鐵大連醫院長)二十四日歸葉提出(大連)

▲石黑道知事 昌業官舍の爲め二十四日から八月五日迄管下天安外六郡へ出張(公州)

▲李參興官(忠南)同上八月十六日迄洪城外七郡へ出張(公州)

▲佐伯警務部長(忠南)天安外二郡巡視の爲め廿五日から三十日迄出張(公州)

▲佐々木財務部長(忠南)大田外六郡財務視察の爲め廿七日から八月九日迄出張(公州)

▲多田榮吉氏(平北道評議員)石龍背温泉に病氣靜養中の處全快廿六日歸新(新義州)

▲加藤銀治郎氏(平北道評議員)廿六日奉天から歸新(新義州)

▲今村忠北道警察部長 病氣引籠中の處二十七日登廳(清州)

▲吉田雅一氏(平北道評議員)多獅島築港問題打合せの爲め二十七日龍岩浦から來新(新義州)

▲松川新釜山水上署長 署任挨拶の爲め二十七日府内各方面を歷訪(釜山)

▲寺島米浦郵便支店長 二十九日赴任の筈(仁川)

▲加島勝一郎氏(營口有力者)二十二日急死二十四日正午式にて葬儀執行(營口)

ミツワ椿油を基礎とせる國粹髮附油

○ミツワ・コスメチック

紙包 金貳拾錢 押出紙箱入 金五拾錢

本品は冷壓純粹のミツワ椿油を基礎として特に選出せる特殊油脂と最良の香料を配合して新鮮なる香料を施したる純植物性のものでありますから、普通のコスメチックや鑛物油の代りに之を用ひますと、毛髮を潤し脱毛を防ぎ櫛の通りを良くし、赤毛を黑くし、其の色澤を増して漆黑ならしめ、容色に一段の美を添へることが出來るのであります。

○ミツワ石鹸本舗

丸見屋商店

東京市日本橋區二長町

振替 東京 一○五番

毛髮を常に艶々しく濡羽色に漆黑にする

○純粹 ミツワ椿油

大壜 金四拾錢 中壜 金貳拾錢 小壜 金拾五錢

本品は普通の椿油と異り、冷壓法と縮乾に熱を加へず、強力なる壓搾機で搾取したまゝの純粹のもので、滋養性があるから、毛髮の細胞によく浸透り、其の發育榮養を助け、又不乾性に富むので毛髮を常に艶々しく濡羽色に漆黑ならしむる眞に理想的の髮油であります。

ミツワ椿油を基礎とし紳士用束髮用に適する

○香油 ミツワポマード

煉 壜入 金七拾錢

本品は冷壓純粹のミツワ椿油を基礎として精製したものでありますから、從來の鑛物性の油を以て製造せる香油と異り、毛髮を赤くし或は折毛を生ずるなどの虞なく、頭髮は梳き易く漆黑な艶を與へ極めて結髮の性能を備へてゐます。香氣が高尚であり、洗髮に際して汚垢は十分によく洗ひ落されます。

香氣快く、髮を柔く、櫛の歯を傷めず、又面倒でないので、自由に入れられます。

講談 國定忠次【百十四】

悟道軒圓玉演　濱田如洗畫

三百兩負けたい

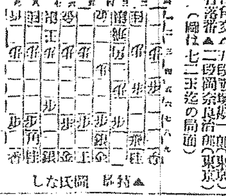
彦次郎はまさかこの甲州郡内矢村の彦六が國定村の忠次であらうとは知りませんから、云はれる儘に彦『それぢや私は一足先きに親分の所へ參りますから、お前さんは後から來なさるが宜い』忠『では さう云ふ事にしませう、で何でございますかえ、旦那方が勝ちますかね』彦『負けた者が多いやうでございますな』忠『それでは誰が勝ちます』彦『寺銭親分の子分衆なぞが勝つやうでございます』忠『フーム、いつは飛んでもねえや、旦那方を遊ばして置けば寺銭が上る、親分の上には勝負もあるが寺には寺銭がねえ、勝負と云ふ奴がかゝればもうそれが金になつてゐる、それでありながら子分に勝負をさせるとは博奕打の道を知らねえ奴だ、まアそんな事だらうと思つた、さアノ〜先へお出でなさい、後から私が行く』茲で彦次郎は寺銭の許へ、後で忠次はもう一本酒を飲んで食事をして腹を拵へて是から町に出て彦次郎に教へられた通りに寺銭の許へ訪ねて來ました。何しろ土地での親分ですから家も立派で子分も大分居る。子分『何だ〜氣味のわるい奴だな』家を覗いてゐて 忠『遊びに參つたものでございます』子『ア、お客樣でございますか、さアどうぞ此方へお上り下さいまし、オイお客樣が來たよ、さアどうぞ』忠『始めて參りましたもので、それでは遊ばして下さいませ』子『ヘエ一喫樣でございます、どうぞ御緩然お遊び下さいまし、今日は旦那方も大分揃つて居ります』と寺銭の子分はお世辭を並べる。忠『アゝ左樣でございますか、今度盆で少しばかり儲けまして三百兩ばかり負けたいと思つて出て來ましたが……』子『ヘエ三百兩負けにお出でなすつたか、さう云ふ方が勝ちますよ、さア〜どうぞ此方へ、親分此のお客樣は始めて來ましたが、三百兩ばかり負けて行きたいと申しますが、面白い方がございますね』と正面に座つて居た年頃三十七八になる大きな男に云つたが、これは寺銭で越後縮の着物股引の小柄に茶の献上博多の帶を締め、銀の煙管の入つた煙草入を腰元に挾み、子分を指圖してゐたが、寺『さうか、さアどうぞお客樣、私へお坐り下せえ、私が寺銭でございます、お見受け申した所はないが、何方の旦那の方でございますかえ』忠『左樣でございます本町に居りますよ、もう何より勝負事が好きでございまして永い間悪戯をして、イエもう勝つても負けてもそんな事は構ひません、勝負事は時の運不運とか申しますから、それに私は斯う云ふ所に參りまして博奕に用ひます道具を見るのが實に心地が宜しいので』寺『アゝさうですか、寺の大勝が、負けずは賊勝て手順突、是程面白いものはないさうでございます、どうぞ澤山儲けて行つて下さいまし』と寺銭は旨い物がかゝつたと心の内では思つてゐるし、忠次は一座の者を見廻し、忠『皆さん御免下さいまし』と挨拶をしたが、この内には彦次郎も居る、忠次もそれへ腰取り懐中から財布を出して傍に置ら、か賭ける、是は丁半とか申して面白いものださうでございます、私なぞは滅多に存じませんが、聞いた樣お話いたします、盆で寺銭の子分が客の相手をしてゐる、旦那方が揃つてゐる事とて一勝負に五十兩百兩、大したものです、すると丁と口を切つた人が、パラりとそれへ百兩賭けた、パラ〜と懐から金が落ちる、寺銭の子分が賭方の賭りを勘定してみたが、子『旦那、濟みませんが三十兩引いて頂きます、半方には七十兩より賭けてございません、旦那の賭けた百兩それでは勝負が出來ません』忠『イヤさうではねえ、俺が丁と口を切つたこの賭は丁と見込んだから是だけの金を賭つたのでございますかね、それでは子分に三十兩引く譯には行かねえ』子『左樣でございますが、もう三十兩出して頂きたいものでございます、越後屋の旦那お前さんは大分受けてゐるやうですが、もう三十兩出して頂きたい』忠『どうもこの賭は半とは出ないだらう、さう思つては餘計に賭ける氣は出來ねえ』

天木村屋の
一品 せんぺい

將棋新手合（一）

於東京市日本橋區蠣殻町三ノ十三 將棋本將棋所

香角交△五段 萱塚勘一郎（東京）
香落番▲二段 岡奈良治郎（東京）
（圖は七二玉迄の局面）



▲二六歩△三四歩▲七六歩△四四歩▲二五歩△三三角▲四八銀△三二飛▲一六歩△一四歩▲六八玉△四二銀▲七八玉△六二玉▲九六歩△七二玉▲五八金（ロ）以下次號

將棋木七段講評

△（イ）八二玉と左翼の防備を捨てゝ早く玉の穩へを整へたのも一の策戰なり

▲（ロ）五八金上りは穩健なり四六歩と突きて角を交換の含みに指す處なり

川柳大募集

牛島川柳社主催

課題「耳」「諦め」「晴れ」 通計六句一組

選者 矢野きん坊、窪田春木、川上三太郎、相元紋太、岸本水府、大島濤明、麻生路郎、前井花屋子

賞 一等五十圓、二等二十五圓、三等十五圓、四等以下二十等迄記念品贈呈（以上通計高點順にて）

用紙半紙半切一句宛各別紙記入（住所姓名明記のこと）

會費一組金五十錢（小爲替）

締切 七月三十一日（内地よりの投句は八月五日）發表 八月下旬

刷子迎付

居所 京城府櫻井町二ノ三 牛島川柳社

七月三十日（舊曆六月十日）

▲三碧 ▲乙卯 ▲先負 ▲成 ▲井宿 ▲木曜

▲中段で推け易い日他人の世話などは懇切に物事を辨へて…

▼四綠 依賴心を起さず心のまゝに進んで利を占む坤と丁と内が吉

▼五黃 資本と努力との調合には利益の上らない日坤と艮と乾が吉

▼六白 何事にも控目が第一寄り近づいては損する良と南と北が吉

▼七赤 動きもすれば紛議を持込まれる焦慮つては不安と良と乾が吉

▼八白 新しい事は面白くない心を靜かに持つて利坤と内と乾が吉

▼九紫 大いに爲る事を輕擧し無く、自ら働れ心が肝要乾と巽と北が吉

▼一白 勝れぬ日で手出しさせ二黑の貴方は吉とならう勿れ

▼二黑 欺される心配がある寧ろ悲むのが安全第一坤と北と南が吉

物理療法

藥のない醫療藥法では非常に臨り惜しい病氣を無理から藥で臨りと無駄骨折つて居る方は速かに物理の物理療法を受けられん事を御勸め致します

▲慢性の難病でも容易に根治するものが澤山有ります

適應症

神經衰弱、リウマチス、腦溢血、腸胃病、胃腸病、婦人病、打撲、肩凝、……

京城日報社代理部

中風病

我が家は祖父及び父と母の三人とも同病にて困難したる遺傳系統にて其の治療法を研究しき實驗し得たる良藥を新聞の名を以て入ハガキ千人を限り無代進呈す

兵庫縣……

てんかん

病院に治ります

金剛饅頭

千壽長生松の家入

上・野 醫院

京城南大門通二丁目朝鮮殖産銀行前（朝鮮總督府醫院前）

内科 小兒科

院主 上野和夫

電話 本局 二五五番

蠅の恐るべきを知り牛印蠅取紙の

ある事を知られよ

此の牛印蠅取紙の偉大なる効力は一枚の紙にて一千匹の蠅は取れ世界無比の最良品なり見本御希望の方は御申越次第直に御送り致します(無代)

西洋蠅捕紙 特許 牛印 朝鮮總代理店

釜山本町一丁目 ㊅ 松本商店

振替京城七八一五番 電話一一八八番

大阪高津表門筋

効能 逆上を引下げ便通をよくし 腦溢血其他諸症を下す

効能で賣れる ひふみ

本家七ふくや伊藤長兵衞

振替大阪九三七七番

昔も今も

森永ビスケット

モレット
ツ・ーダンカーメン
ハーバートクリーム
マリー

森永製菓株式會社

消化と毒けし

仁丹

炎熱は仁丹で消すもの

室内で仁丹
旅行で仁丹
登山で仁丹
沙漠で仁丹
船車で仁丹

金言 時ニ遇ヘバ鼠モ虎トナル（古語）

宮内省及東宮御所御用品

仁丹の體温計

到所ノ藥店ニテ販賣ス

西洋式に完成 科學的優秀

仁丹のハミガキ

歯牙保健上唯一ノ優良品

Ford
THE UNIVERSAL CAR

フオード

いよく安く成りました

京城渡價額

金壹千五百八拾圓
トラック」シヤシー電氣始動器ナシ

金壹千七百五拾圓
トラック」シヤシー電氣始動器付

貨物車用車臺」高速度又ハ低速度機構撰擇隨意

左記各地に於けるフオードデイラーは各位の御便宜を計り詳細説明申上ます。又純正フオード部分品を販賣いたします。

京城　金泉　大邱　釜山　晋州　平壤　新義州　海州　元山

本年は六十二年振りの大洪水が有りました。水道もなく電氣も電信も汽車も電車も中止されました此の急場の救助に活動しましたのは自動車です。

自動車の内で九割迄は「フオード」でした自動車は實に便利なものです。

日本フオード自動車會社
認定
朝鮮代理店

セール・フレザー株式會社京城出張所

京城竹添町一丁目　電話光三六九・一六一九

財界のにほひ

[illegible]發すれば貧するといふ。騒ぎ[illegible]り果てた[illegible]末はたしなみもつゝしみもある譯のものではない。窮すると[illegible]である。京城も[illegible]その分らぬところを作り出さねばならぬ仕儀へ相成つた。◇[illegible]がどうか。證がどうか。

夏やすみ 其間に整理を

さて其事件は何處にあるかを究察する必要もあるが今はいはぬが花。[illegible]しかし[illegible]の上で[illegible]今後[illegible]次第ではいはねばならぬ事もいはねばならぬかも知れぬ。◇ たゞ[illegible]の[illegible]して何とか片付け方を考へねばならぬ際となつた以上は一つ[illegible]に整理をなす必要が要る。[illegible]休止は不祥事に相違ないが[illegible]的救濟のためには暫らくの休止も已むを得ぬ。ハタのわれ等は夏やすみのつもりで待つて居やう。◇ 今は不景氣に相違ないが此不景氣が育ち盛つたからとてそれは何處のものであらうぞ それが朝鮮經濟の常態である。而してその常態を目安にどうやら此經濟を維持し得られるごとく市場を作りかへなくてはならぬ。[illegible]業者の一考を促し置く。

預金部より新資金融通せず 誠資本積立金流用もせぬ 特銀整理案内容

【東京電話】廿七日[illegible]に於ける特銀整理協議會に於て決定せる内容左の通り [illegible]

中央採金創立 社長に深尾氏

[illegible]

政府拂下米 次は一萬五千石

【東京電話】[illegible]

限外發現 月末の一現象

新資金需要關係の[illegible]とて[illegible]鮮銀券は二十七日に發行高八千六百十六萬[illegible]準備三千二百七十一萬圓限外發行三百四十三萬圓を前日より約二[illegible]萬圓の増加を示した[illegible]

通知預金利下 殖銀で考慮中

[illegible]

殖銀から新資金 勢ひ立つ朝土

[illegible]

定期米賣買 並 精米部 力武商店 仁川本町二丁目四 電話[illegible]

京電株主總會 一割二分可決

京城電氣株式會社にては二十七日東京に於て總會を開き前期の總決算並に一割二分配當を可決し[illegible]氏監査役に推薦さる

商船株主總會

【大阪電話】大阪商船總會は二十七日中央公會堂に開催議案原案通り[illegible]分配當を可決した

京穀移轉 共益社へ

京城穀物市場移轉問題は豫て當局に於て調査中の處今回漸く大門通りの共益社内に移轉認可の内許があつたので組合では早速[illegible]り八月一日より開場すると

對支爲替昂騰

朝鮮銀行對外爲替は漸落歩調であるが對支爲替は二十八日五十二圓一六分九と十六分二騰である 尚在滿鮮關の爲替思惑も漸減の傾向である

朝土新臨査役

朝鮮土地會社は二十七日の總會に於いて監査役補缺選擧を行つた結果朝鮮銀行重役[illegible]二郎氏就任した

株式と米況 (二十八日)

京取株式

[illegible]

大阪短期歩み

[illegible]

興味進る

[illegible]

京取空前の混亂 五千の處分物續出し 八圓處の亂手を振る 收拾付かず遂に立會停止

追證納入難の爲め昨後場立會を休め各仲買人全部事務室に押しかけ不同事務に對し突然の暴落で地方の客からも地場からも追證が入らぬ此際強い[illegible]て立會へば各店から證據金切れの賣物二千三千と現はれ不穩當な相場を演出し立會停止に陷る危險があるから之等の頭金切れの玉整理を濟す間京取に限り前場丈け立會を休止されたしと申入れた京取市場としては公共機關としての市場を仲買個人の事情に依り休止することは困る是非立會を開始したいと主張し押問答の末結局仲買店で追證を立替へ納入することになり定刻より三十分延期の十時三十分漸く寄を開けた立會開始となるや[illegible]の感情もあつたらしく此瞬間新田、白井、吉見等を始め各店から證據金切れの處分物約五千程續出し成行ヤロウで十八圓處から只の八圓處までの亂手が雜り場面大混亂を呈し遂に立會不能の狀態に陷つたので當局は遂に形勢不穩と認め立會[illegible]分間にして營業[illegible]第十二節に依り立會を停止したのは十時四十分

罵聲に埋る 一仲買人の昂奮

立會停止の相談に先だち市場は立會の混亂を防止する爲め追證納入未濟の仲買店は全部場立端より退出せしむることゝし[illegible]仲買店を除く外全部退場せしめた折柄立會開始の爲め入場せんとした一仲買人の入場を防止したことから立會停止後一仲買人が昂奮し立會場は怒罵怒號相交錯するの醜態を演じた

直に善後協議

立會停止後市場では直ちに大日社長の出勤を促がし仲買委員と市場重役室に於て停止後の善後策に付協議した

仲買人の苦し紛れ 某消息通談

何しろ仲買人は懷具合が苦しいからね。併しあの遣り方はあまりに狡猾だ。仲買の懷合は一千枚位だと言はれてゐるが實際は一萬枚は確にあると思ふ。若しこれが白日のもとに曝されたらそれこそ大問題だ。そこでそこ[illegible]るが併し此上叩いたら賣り客は利喰の分と證據金を持つて行く一方買客の追證は益々入り難くなり仲買人は一層苦痛を感ずることになる殊に仲買人は一種の客商賣であ[illegible]

十七八圓で解合へ 少しへんだが

京取の紛擾が如何に解決するか[illegible]

京取より

京取今回の紛擾は市場創始以來の出來事で財界不況の折柄斯る先發的事態は不穩當と稱する外ない[illegible]

荷爲替を休止

京取市場は之れまで市場内質受渡し以外の分も荷爲替の代辨をしてゐたが來る八月一日から市場内に於て質受渡しをした當該株以外の荷爲替代辨を休止することになつた

諸株氣乘せず

京取紛擾で其他の諸株は全く氣乘らぬが大阪市況は引續きザリ安歩調を入れ急に引返しそうにも見へないが政局の不安から斯く軟調を辿るものと見られ急落はあるまいが政局が安定しない限り引續き鈍調を續けるものと見られる

正米無反響

定期は前日の高値より百餘丁の急落を示したが正米には何等の反應ないのみか今朝は却つて十錢高の丸キ四等四十二圓三十錢にて約四千石の取引行はれたる有樣であるも朝鮮國高の際とて内地注文は杜絶の地場精米所は殆ど休業の狀態であるも京城品カスレの際とて沿平開通と共に京城に買物相當に入込み來れる模樣にて相場の下遁りも一は之れが爲めであるらしい

東西當限受渡

今前場納會を告げた東西當限の受渡しは東京九千七百石値段四十五圓七十五錢大阪二萬八百石値段四十三圓八十錢である

鮮銀券發行週報

朝鮮銀行券自七月十九日至二十五日の發行週報は左の通りである(單位千圓)

[illegible]

海外經濟電報

[illegible]

期米 反動瓦落

[illegible]

仁取より

[illegible]

此際自重を申合す

[illegible]

總解合

[illegible]

京穀延べ

[illegible]

仁川期米

[illegible]

鮮内正米

[illegible]

各地期米

[illegible]

各店の俵合せ

[illegible]

各地市況

[illegible]

大阪長期

[illegible]

安東株式

[illegible]

鎮平銀

[illegible]

大阪短期

[illegible]

短期建玉表

[illegible]

算定と日歩

[illegible]

銀行取引停止處分

[illegible]

對外爲替

[illegible]

商品市況

[illegible]

東京コール

[illegible]

鮮銀帳尻

[illegible]

國民保健の危機は完全な育兒料に依て救はる！

ラクトーゲンに就て

世界文明先進國中我國の乳兒死亡率[illegible]高きは國民保健上重大なる問題にて有之候

弊社が母乳代用品として粉末純乳ラクトーゲンを發賣致候以來各位の多大なる御賞讃を博し今や幾多の優秀なる實蹟を擧げ名實共に斯界の第一人者としての榮譽を擔ひ育兒上欠くべからざる逸品と相成居候事は偏に各位御愛用の賜と感佩罷在候

ラクトーゲンのみにて哺育せられたる御子樣は既に六歳を數へられ健康なる笑顔にて「ラクトーゲンの御蔭」このお言葉を聞く時弊社の滿足と欣喜是に過ぐるもの無之候

近年本品の聲譽高きにつれて如何はしき類似粉乳簇出し殊に本邦に於て粉乳に關する取締規則なきを奇貨とし育兒用として價値なき粗惡なる粉乳の市場に現はれたるは國民榮養の見地より見て實に由々しき問題たると共に哺乳料に困却せらるゝ方々がその良否の撰擇に就て痛く迷はるゝやに聞き及び候就而我育兒界に粉乳を紹介せし先驅者たる弊社の責任上其品質の御選定につき特に御注意申上ぐる次第に御座候 今日全國津々浦々に到る迄販賣せらるゝラクトーゲンは母乳代用品として最も理想的商品に有之候間御躊躇なく「ラクトーゲンと御指定」御求めの上御使用下さる樣御すゝめ申上候

ラクトーゲンは育兒料として永き經驗と絶えざる研究に依て最新最高の學理を應用し鋭意品質の改良に努め常に優秀なるものを御提供致度専念致居候尚又小兒科專門大家の御熱心なる御推奬を賜りいやが上に本品の眞價を認められ申候

今後とも可愛いお子樣の哺育料として又一般保健榮養料として殊に昨今牛疫猖獗を極め牛乳の不安益々深められ候折柄之に優れる本品の御愛用を賜り度伏而奉懇願候

尚ラクトーゲンは全國到る處の有名なる藥店食料品店に於て販賣致居り全國一定小賣値段は左の通りに御座候

大罐 (三ポンド入) 金六圓貳拾錢
中罐 (一ポンド入) 金貳圓貳拾錢
小罐 (半ポンド入) 金壹圓貳拾錢

ラクトーゲン發賣元 大阪 東京 乾卯食料品株式會社

主婦之友 八月號
夏季健康號

◇他雜誌の眞似の出來ぬ獨特記事◇

北里夫人は斷然離婚すべきか
中興寺家において難族と情死をはかつて生き殘つた北里男爵の息俊太郎氏の今後の身の處置は如何にするか？それにも増して一世の注目の的となつてゐるのは夫人の今後の態度である。夫人はかゝる良人の非行に對してこれを默過してゐるべきか？それとも斷然離婚して新たなる生活に入るべきか？この切實なる問題に對する現代三名家の批判を本號に發表。

若き婦人の曲線美を作る法
本誌に毎號連載されて大評判となつてゐる『如何にして美人を作るか』の第三回で本號には若き婦人の美容上最も大切な頸から胸へかけての曲線美を作る方法を發表しました。此は彫刻家でその方面に深い研究を有する日名子實三氏でありますが、本誌は讀者に多くの秘策婦人に接しての…

美貌の職業婦人は何故に成功せぬか
美しい婦人は職業には不向きだといはれてゐますがそれは本當でせうか。もしそれが事實としたらそれはどこに原因があるのでせう？本誌は實際に多くの職業婦人に接してゐる各方面の要路の人々についてこの興味ある問題に對する僞りなき意見を伺ひました。今後婦人の職業方面の世界がますます廣くなつてゆく折柄何人も一考しておくべき事であります。

▲不良兒を感化した母の苦心（家にあつては我儘で手に負へない不良兒を見事に感化して立派な優良兒に仕上げた母の苦心の跡を御覽ください）

▲天才兒の將來は幸福か不幸か（天才兒童の將來を幸福にするのも不幸にするのも家庭教育の如何によります。天才兒の幸福を願ふ方は現代三大家の教育者の意見を御覽下さい）

新東海道の漫畫道中記
（主婦之友漫畫部）
▲山内神斧　▲田中比左良　▲中島一六郎　▲中村一朗　▲藤原英比古

本誌の漫畫記者五人が兩方に分れて東軍は東京から西軍は京都から同じ日の同じ時刻にスタートを切り東海道の眞中で落合はうといふ珍趣向。道中記といつても無味乾燥な紀行とは選ひ、一驚抱腹絶倒するやうな面白い大正の膝栗毛であります。道中に起つた珍談や失敗談の數々のほか、五人各々がお手のもの漫畫スケッチを紙數にそへて更に一層の面白さを加へてゐます。挿畫十數頁に亙る本號の大特別讀物を今直ぐに御覽くださいませ。

▲全國各地の海水浴場案内…（本誌調査）
▲夏の夜の神秘な星の物語…（本誌記者）
▲避暑は必要か？無用か？…（誌上討論會）

讀んだ丈でも涼しくなる
▲十五圓で出來る布ボート…（ウッドロウ）
▲寫眞説明の水泳上達秘法…（本誌記者）
▲水浴心得と溺水者救助法…（吉田實信）

『主婦之友』の治病便覽の記事は世間に既に定評があります。どの記事の一つにも重き責任をもち誤りなきことを期してゐます。されば常に『主婦之友』の記事は多くの病弱者の方々から絶る所なき信頼をもつて愛讀されてゐます。八月號に發表したこれらの記事も例によつて『主婦之友』以外では見られぬ貴重なもののみであります。どうぞ一冊をお手にとつて健康恢復の喜びを得てくださいませ。

難病を治す新しい心理療法…（別所彰善）
くすれば肺病は必ず治る…（原榮博士）

▲重症脚氣が夏蜜柑の食用で必ず治る…（矢部博士）
▲最も危險の多い赤坊の夏季の健康法…（福井博士）
▲乳汁分泌の少きに苦しむお母様方へ…（川添博士）
▲松葉の驚くべき藥効と松葉藥の作方…（和辻覺）
▲慢性胃腸病患者の養生法と手當法…（矢尾板博士）

矢島先生の思出
日本女性の母と呼ばれた矢島女史生前の逸話奇行を發表して女史の死を悲しみこの偉大なる人格者の面影を偲ぶ追憶の物語……久布白落實・三谷民子

森律子孃尾行記
本誌の寫眞記者がカメラを提げて或る一日律子孃の後をつけて一々寫眞に撮つたものをコッソリ本號の誌上に發表したのがこれです……本誌寫眞部

花嫁日記
處女から人妻へ結婚當時の華やかな思ひ出を御讀くださ い。人にも語れぬ恥かしい思ひのかずかずを、縷々と筆についづつた樂しい日記……懸賞當選

夏の素人寫眞集
現代知名十氏の素人寫眞十枚を發表しました。何れも夏の山と水を取材とした涼しいものであります。
△田邊尚雄…△牧野虎雄…△市川左團次…△四條綾襲…△市川壽美藏…△小笠原貞子…△細川護立…△井上正夫…△三井高遂…△川田芳子

母と子供の懸賞當選寫眞發表……
大東京の復興記念寫眞畫報（一）……
東西日本の山水美をたづねて……

面白い小説を讀みたい方は『主婦之友』の一度御覽下さい。讀み始めたら止められぬ面白さ。集めまた小説ばかりらです。

死んだ愛兒から不思議な通信…（石田勝三郎）
死んだ愛兒からの通信が來た……それによつて愛兒は靈界で元氣に暮らしてゐる事が分つた。しかも靈界の有様が詳しく述べられ靈界には男も女もあり酒も煙草もある事が分つた。この驚くべき事實の顛末を八月號の『主婦之友』に發表した。

▲長篇小説 生に寄する波…（加藤一夫）
▲史材小説 明暗の峠…（白井喬二）
▲長篇完結 春は甦れり…（三上於菟吉）
▲繪畫物語 氷柱の金魚…（路谷虹兒）

こゝに作られる家庭の事業は大すじを挿圖の多數に入れて易しく分り讀めるもの。誰にも出來る様に説明してあります。

美容裁縫 料理手藝 誌上夏期講習會
本誌獨特の特別讀物
▲盛夏の化粧と顏容の秘訣九ケ條…（專門八氏）
▲涼しく見せる和裝と洋裝の着方…（武井文枝）
▲僅か五十錢で出來る夏の男兒服…（長谷川清子）
▲洗濯の出來る…ウスドレスの仕立方…（平岩鈴子）
▲浴衣地で新型の海水浴用ケープ…（平岡伊三郎）
▲タオル地で新型の海水浴用ケープ…（並木正平）
▲夏に相應しいコード刺繡の兒服…（井田信子）
▲美味しい東京式の本式の簡單な洗濯法…（加藤由一朗）
▲子供にも出來る冷菓子の拵へ方…（増田盛子）
▲夏の果物類の美味しい食べ方…（鶴見義子）
▲夏の食慾をそゝる佃煮類の拵方…（松村緋沙子）
▲クレオン染用の卓子掛の作り方…（山内緋佐子）
▲氣のきいた夏の座蒲團カバー…（藤井くわ子）

▶地方附録づきにて五十錢（送料二錢）
半年分二圓八十錢　一年分五圓二十錢
振替東京三三七八六番　東京市小石川區關口町
主婦之友社

京城日報
（朝刊夕刊合せて十頁）

非難の聲
あるものゝ如く右は屢々八月二十一日の苦境に陷らしめながら責任を轉嫁するは全く株主を無視する學であるが大株主間に於ては既に株主總會に於て表現さるゝするものとの形勢さへあり………

注目さるゝ
京取崩落と對策
……衡は如何にして最も上に出る方針である…を公正にして…の態度と決定…閉り…は…その…する…に…へ相場の…するも…より市場の…し…て相場の低落に…し…にでも市…かは…での…する

新設 自動車運轉士養成部
本所ハ既經驗者ヲ除キ技術ヲ以テ運轉士タラシム。學生徒本位ニテ學費低廉且ツ實地教授ノ優良ナル點ヲ他所ト比較セヨ。私立補習ニ於テ實地ニ於ケル本所ノ生徒合格數ハ本府內ニ在リテ常ニ第一位ナリ。
運轉士志望者ハ直チニ入所セヨ。經營委員ニ對シ人物技術優良ナル者ヲ紹介ス。
案內書ノ御申込ハ京城府古市町八番地古市町停留所前
朝鮮自動車研究所

≡夏の家庭の必讀記事≡
▲（巻頭言）健康充實の夏季…（石川武美）
▲耳の形で運命を占ふ法…（船井梅南）
▲感謝と勞働の新理想鄕…（鈴置倉實）
▲帝都女子專門學校巡り…（中島六郎）
▲狂女の群の悲しき生活…（婦人記者）
▲驚くべき瘦液の靈活力…（本誌記者）
▲坐骨神經痛の新療法…（大澤昌壽）
▲指壓療法で脚氣を全治…（遠藤於與志）
▲玩具の破片利用の電鈴…（本誌記者）
▲（長篇漫畫）とん子と勝坊…（藤原英比古）
▲時事問題の解説と批判…（田川大吉郎）
▲吊籠で出來る蔬菜園藝…（坂內文經）
▲農村の新副業松蕈栽培…（三村博士）
▲巴里散策…（西條八十）◇海水浴場…（正富汪洋）

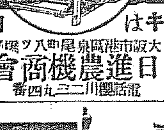
第七十六回營業報告	
貸方（負債ノ部）	
資本金	[illegible]
積立金	[illegible]
特別積立金	[illegible]
拂込未濟株金	[illegible]
代理店勘定	[illegible]
支拂手形	[illegible]
受取手形	[illegible]
借入金	[illegible]
商品割戻金	[illegible]
商業組合利子	[illegible]
郵便振替預金	[illegible]
記念事業資金	100,000.00
未拂配當金	[illegible]
未拂利子	[illegible]
未決算勘定	[illegible]
職員恩給資金	[illegible]
職工保護資金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]
借方（資産ノ部）	
拂込未濟資本金	[illegible]
土地	[illegible]
建物	[illegible]
機械	[illegible]
原料品	[illegible]
製品	[illegible]
貯藏品	[illegible]
銀行預金	[illegible]
郵便貯金	[illegible]
出資金	[illegible]
有價證券	[illegible]
合計	[illegible]

第十一回決算報告　大正十四年上半期　內外綿株式會社	
貸借對照表（大正十四年六月三十日現在）	
貸方（負債）	
資本金	[illegible]
借入金	[illegible]
借方（資産）	
拂込資本	[illegible]
土地	[illegible]
器物	[illegible]
前貸付金	[illegible]
貸付金	[illegible]
預金	[illegible]
銀行有高	[illegible]
合計	[illegible]
損益計算	
本期利益金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
水道料	[illegible]
受入料	[illegible]
納付金	[illegible]
合計	[illegible]
總損金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
差引	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
合計	[illegible]
利益金處分	
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
株主配當金（年二割五分）	[illegible]
役員賞與金	[illegible]
後期繰越金	[illegible]

右之通リニ候也
大正十四年七月
朝鮮土地經營株式會社
取締役社長 荒井初一
專務取締役 末森富良
取締役 古城梅溪
取締役 北野三郎
取締役 赤萩與三郎
取締役 淺野太三郎
監査役 加來榮太郎
監査役 島山孝市
監査役 深見寅市
取締役 及川…、荒井初一、北野…、淺野太三郎、赤萩興三郎、末森富良、古城梅溪、加來榮太郎……
相談役 釘本藤次郎
相談役 吉田秀次郎

京城 大阪屋號 振替京城二五七三番 電話本局二〇八一番
最新刊
常識無盡講話……赤坂榮司著……一、〇〇
ひとりの部屋……鈴津和郎著……一、八〇
宗教哲學概論……帆足利一郎著……二、〇〇
親鸞教の研究……金子大榮著……一、八〇
應用膠質化學……田所哲太郎著……三、〇〇
ニコル共喜傳……柏井園著……二、〇〇
婚姻制度講話……穗積重遠著……一、〇〇
自由教育眞義……手塚岸衞著……二、〇〇
河の自然現象……山川鐵三郎著……二、〇〇
星は亂れ飛ぶ……沖野岩三郎著……一、〇〇
日本國民思想史……中原貞三郎著……二、五〇
狐……與謝野晶子著……一、〇〇

輕快と堅牢
鳥印
切藁・應用・音せぬか



ネコキイは日進式
特約は今
型錄送呈
大阪市港區泉尾町八ツ塚
日進農機商會
電話川口二九四番

改造 八月號
▽定價金八拾錢（送料二錢）
東京芝區愛宕下町
振替東京八四〇二番
改造社

■無產政黨の新政治…（大山郁夫）
■小作問題の歸趨…（澤村康）
■在歐通信…（河合榮治郎）
■何故に日本は資本主義經濟…（高橋龜吉）
■支那反帝國主義運動の基本考察
支那の國權回復…米田實
對支借款の現狀…木村增太郎
國際關係に對する支那人の不平…米內山庸夫
支那勞働運動の一觀察…及川恒忠
■藝術覺書…（郡虎彥）
■（戯曲）雲の彼方へ…（正宗白鳥）
■（戯曲）手…（前田河廣一郎）
■一年間…（宇野千代）
■その八年間…（千家元麿）
■狗が疲れてゐる…（廣津和郎）
■歐洲をめぐりて藝術巡禮者の感想…（矢代幸雄）
■置き忘れた生人形…（賀川豐彥）
■父を葬る…（藤澤古實）■渾河のほとり…（川田順）
■山
■凡水…平福百穗
■線上…木暮理一郎
■雪以客…小杉未醒
■桂月と除霞
■（遺稿）內氣な娘とお轉婆娘…（伊藤野枝）
■大杉をめぐる同志の人々…（中村還一）
■或る新聞記者の偶像の話…（石原純）
■支那南北記…（木下杢太郎）
◉原稿募集（失業體驗錄）

鷹印特許乾電池
懷中電燈
電機とラヂオ
卸專業
外山月報進呈
東京市神田區表神保町二番地
外山電機卸商店
電話神田二五九二番
振替東京四六八八八番

花生・道具・美正派盛花・未生流生花
京城明治町二丁目
專門 常廣商店
教師 常廣春道齋
電話本局六三九番

京城日報

公債政策と朝鮮(上)
事業公債増額

一

財界の成行きは風雲を孕んでゐる。政友會は税制整理案に火蓋を切らうとしてゐるが、その協調破綻の理由としては部分的政策の相違よりも本質的主義の矛盾を高調するらしい。成程政友會の積極方針は何人も之を認めてゐるのであり、消極方針の憲政會と協調してゆくといふことが、初めから既に不合理であったのである。從って今日に於て憲政會と手を切らうとしてゐるのは、その本來の面目に歸るものと言はなければならぬ、世人が政友會の態度を一に政權慾に驅られてゐる如く見做すのは、皮相觀に過ぎないかと我等は思ってゐる。無論田中總裁の立場としては、政權への道にあせり切ってゐることを知らぬではないが、それはそれとして、今日まで政友會が憲政會に追隨して來たことこそ、寧ろ非難すべき理由があり、今後は一日も早く憲政會と手を切ることが、その主義政策によって立つ公黨本然の行動といへぬこともない。斯うはいふが我等は決して政友會の積極主義といふものに贊成してゐるのではない。寧ろ不景氣を口實にして、放漫政策に移る如きは、財界の健全なる恢復を妨げ一時の空景氣を煽動して他日、取り返しのつかぬ禍根を植るに外ならぬことを憂へざるを得ぬ。矢張り消極方針を續行して、一層之を徹底せしめ、不景氣による失業者の救濟等は、何とか社會政策的施設によりて之を解決する外方法はない。政友會が今日憲政會と手を切る理由を、その積極的放漫政策に求めるのは、別に不都合はないといふ迄である。それは兎に角として我等は憲政會の消極政策が、國運、朝鮮に於ける積極的經營に關しても、一律一體に之を阻止するが如きことなからんことを、特に註文して置きたいのである。即ち消極と積極との爭ひは内地だけに止めて、朝鮮には積極主義を認めて貰ひたいのである

二

それは何も身勝手な我儘を述べるのではない。朝鮮統治の根本義よりしてその經濟的發展を奨勵とすべき理由、明白であるのみならず内地の食糧問題、人口問題を解決する最後の鍵は朝鮮にあると、井上準之助氏などの唱へてゐる通りである。或は井上氏の意見を以て、内地人の朝鮮に於ける經濟的發展、資本的發展を逞しうするもの、如く、無理解に解んでゐるものもあるけれど、そもそも朝鮮に於ける産米の增殖といひ、鮮道鐵の完成といひ、それが何で朝鮮人の經濟的不利となるであらうか。こんなことをいふものは、多分鮮の謬誤なる社會思想にかぶれてゐるものだらうと思ふが、社會主義者といへども決して資本そのものゝ活動に反對するものはない。資本主義と資本とは必然の關係はないと彼等は忘れてゐる。現に勞農露國に於ては外國の資本を歡迎して、その經濟的發展を期待してゐることを彼等は知らぬ。尤も井上氏が内地の人口問題、食糧問題のみを高調して、朝鮮の經濟的發展が内鮮人全部に及ぼすべき點に言及することを忘れてゐたやうだが、これは獨り井上氏を責めらるべきではない。何人も經濟思想の一片を知るものならば、そんなことを誤々害はなくても分ってゐる筈である。固より朝鮮の資本のみにて、産業開發が出來れば至極結構である、が、それは到底出來ない相談ではないか。論者は徒らに朝鮮人の民族的偏見を鼓吹するに熱であって、朝鮮の產業開發そのものゝ發達を否定する如き暴論に陥ってゐるのだが、かゝる暴論の存在してゐるのも、矢張り多數朝鮮人の經濟的安定を得ない結果であらう。之が根本原因を去る爲には、朝鮮を經濟的に安定せしめなければならぬ。しかもそれは内地資本を以てせざるを得ないのは既述の如くであり、朝鮮統治の大本は此にあるのである。だが朝鮮の經濟的經營といふことは必ずしも政府の力のみでは出來ぬ。井上氏等の意見もさうであるが、政府に於ては固より率先して之に當らねばならぬ。我等は此點憲政會が消極主義の犧牲にとらはれて朝鮮事業公債の增額にも反對するやうなことが無いことを信じ且つ望まざるを得ぬ。」

田中總裁の失意と農相のお手柄で幕か
巧みな政府の作戰で
政友會は妥協するかも知れぬ

【東京電話】政友兩派正面衝突の危機は目睫に迫ると觀られてゐたが政友會が首相政友總裁下野旅行中は決して政變を回避すべく方針を決定し問題の解決を少くとも八月中旬以後に延期せしむることになった結果、政局は俄然緊張せる急性症狀より弛緩せる慢性症狀に轉移するに至ったが、これは明白に政府政友兩派の戰術の奏效を意味し從って政府の前途は平穩を期せられ今や政局は凡ゆる手段方法に依りて解せられ政情は日一日と緩和となり或は双方の歩み寄り妥協の機運を釀成し遂に田中總裁の勇退決意を泥土に委するやも知れない形勢である。要するに解決時期の延期は田中總裁を失意の淵に突き落す危險を豫示し岡崎農相をして協調内閣の大成功者たらしむるものにあらずやと觀られてゐるさ然し政局は政變迄は誰も何人の豫測を許さざるものがある

税制案は愈よけふ閣議に上程
政友側の意嚮も知れたので藏相の希望通りに

【東京電話】税制整理案閣議上程の時期如何は政局の進展上至大の關係あるものとし頗る重大視されつゝあったが、政府としては濱口藏相の希望を酌んで一刻も早く之が上程を斷行する必要より兩三日來頗る苦心を重ねてゐたところ政友會は既報の如き方針を以て進むに一決したと聞き政府としては殊に閣議となったので政府側では之以上時日を遷延せしむるの無意味なるを慮り愈々二十九日の閣議に上程すべく決心したと傳へらる

政友會の遣方
鼻もちもならぬ
然し文句を云ふのも癪だからマア默って見てゐやう
入城中の山道憲政總務語る

水害見舞の爲め憲政會を代表して入城中の憲政會總務山道襄一氏を朝鮮ホテルに訪れると氏は鬪志しつゝある目下の政情に就いて次の如く語った

『新聞紙上に報道されてゐる政界の模樣は事實ありのまゝであって少しも間違ってはゐない然し政友會の進退如何に依り直ちに現内閣が倒れやうとは思へないとである。一體政友會は現内閣と協調し自覺からも入閣させる當初に際して内閣が聲明した施政方針綱領に贊成したもので、それを今日になって是や角言ひ出すといふのは甚だ奇怪千萬なことだ、然し合せ物は離れ物でくつついた女房が嫌ひだと言ひ出したのを今更どうかう言ふ譯にも行かないので『私等はまあ默って見てゐるより外はない。蓋常立國なんて大仰に布れ出して物笑ひになりそのまゝぢつと引こめてしまったなど餘程どうかしてゐる。實は政友會も色んな點で焦れ出したものらしい、だが現内閣を倒したからといって必ず謀略が圖に當るものでもなし、陰謀で行動しやうなどとは鼻もちもならぬと言はぬ、餘りに政情を動搖させることは國民に對して第一非常な惡影響を與へ、また國家としても多大の損失であるまあ然しどうなり行くか私等は靜觀して成り行を見てゐるだけのことである』

入城した山道氏(右)と杉浦氏(左)(記事參照)

罹災廿二萬餘人
堤防、橋梁、田畑の夥しい被害
全鮮に亘る水害調査

警務局調査に係る七月二十八日迄の家屋を除いた全鮮に亘る今回の水害狀況は左の如くである。

堤防破損箇所數 二萬六千十間
橋梁破損箇所 千五百七十二ヶ所
罹災人員 廿二萬三千七百卅五人
救護人員 九萬四千五百三十一人
田畑流失 一萬四百四十町歩
田畑浸水 十三萬三千二十町歩

地租は一分減
酒税は三割増 極秘の税整案

【東京電報】濱口藏相の内示した税制整理案の内容は極秘に附されてあるため各方面より區々に傳へられるが地租及び酒税に關する正確なる内容は左の如く確聞する

一、地租は一分減にして免税點を設置す
一、酒造税は現行税三十三圓を四十三圓に增税す

煙草の値上に專賣局で反對

【東京電報】過般濱口藏相より閣僚に内示した税制整理案に依ると新税目あげと共に煙草値上げを行ふことになってゐるが、右は專賣局の意嚮を聽取することなく財務局の主張に基き獨斷的に定めたものと言はれ社會政策及び歳入不足補塡のため行はんとするにあるが、專賣局にては今はその時期にあらずとして極力反對してゐる

約百萬圓の增收を
見込んだ專賣局豫算
來年度は二千八百萬圓見當

專賣局の十五年度豫算案は早くも財務局に提出されたが、其歳入額は十四年度より百萬圓内外の增收を見込み總額二千七百八九十萬圓乃至二千八百萬圓見當の模樣である。一體十三年度の總入額は二千六百萬圓で十四年度には約百萬圓を增加し二千六百八十萬圓となったものであるが、十五年度も亦煙草の自然增收と輸出の成績に伴ふ增收等で少くも百萬圓位の增加を見込んだものであるらしい。

歳出 に於ては十三年度末より十四年度にかけて經常費の大整理を行はれ十四年度經常費は前年度に比し、三百萬圓を減して千七百萬圓となって居るから十五年度に於ては是以上の削減は到底望むべからず、大約十四年度と同額位を請求し大なる增減はない見込である。歳出臨時部は十四年度約百萬圓で之に經常部の一千七百萬圓を加算し一千八百萬圓を歳入額二千七百萬圓と差引き九百萬圓内外が專賣利益金として國庫に納められた譯である。十五年度臨時部に於ても

新規 事業の大なるものは無いのであるが、然し朝鮮の煙草事業は未だ創業の中途にあり專賣事業は徹底せるものに非ず理由は僅に朝鮮需要額の三割餘を生産するに過ぎず努めて能ふ限り投資して專賣事業の完成を期することが朝鮮の大局より見て重要な問題であるといふ見地から、十五年度には公債は許されずとするも一般會計にて鑑田内部の擴張、煙草倉庫、收納所等の新設を行ひたいといふので之に關する

請求 をなして居る模樣である。尚十四年度の販賣收入は豫算に比し輸出のため四五六の三ヶ月にて豫算額より三十五六萬圓の減少を來し豫算に比し餘り好成績でないが然し今後に於て豫算額だけに押付け得る見込は立って居る模樣である

膝詰談判で戀女房を貰った
當年の杉浦判事が代議士になって來た

つい此間迄、京城覆審法院の判事で、よく肥った色の黒い、縁の眼鏡をかけた若い判事が嚴しい恰好で判事席に控へてゐたのを人々はよく見かけたであらう。

この判事が さる技師の家に乘込んで行って其家の美しい娘さんを膝詰談判で貰ひ受けたといふ話もまださう古いことではない。堅りもの、判事、堅物もの、判事、だといふので人氣ものだった杉浦武雄といふのは二年前まで同院の判事を勤めてゐた人であるが

美しい戀女 房を得て同判事は判事を辭して内地に歸り掛けたかと思ふと忽ち代議士に打って出て衆議院の的になった、二年前の名もなき一役人は今日天下の政客と呼ばれる身になった。その得意や思ふべしである、この杉浦武雄氏が二十八日朝

憲政會の同 志山道襄一氏と共に入城した代議士になってから初入城のことだけに杉浦氏の心は滿足の波に高鳴ってゐた。第一番に戀女房の父君田畑井氏の宅に飛んで行つたのだ。そして同日午後二時朝鮮ホテルで山道氏と落合って水害地を見廻りそれからは多くの知友を訪ね廻らうといふ手順である。杉浦氏とホテルで會った。『如何です二年振りと

今日の感想 は?』と突つ込むと擽ったい笑ひにまぎらして『いやもう何もありません』と答へた、然し氏の戀女房は名古屋の自宅で臨月の腹を抱へて靜かに出產の日を待ってゐるとの事だった。山道氏は『杉浦君の將來は實に恐るべきもので十年もたつたらとても偉い人物になりますよ』と褒めてゐた

阿片取締改正要点
開水衛生課長談

今度制令を以て朝鮮阿片取締令の一部が改正せられたのであるが、右は客年阿片に關する專賣制度が廢止せられたので專賣制度以外の方法に依って阿片に關する取締の完璧を期する目的を以て改正せられたのである今之が改正の要點を擧ぐれば

一、專賣制度廢止の結果本府に於ける阿片の收納及賣下を爲さず阿片製造人と指定製藥者との間に直接取引を認めたので、之が不正使用と不正取引とを禁遏する爲に製造した阿片は一定の期間内に悉く本府に提出せしめ本府に於ては其の阿片中に含有する『モルヒネ』量の鑑定即阿片の良否を檢査し之を阿片製造人及指定製藥者に通知するのである。又一方右阿片の『モルヒネ』量に應じ最公正なる値段を告示し其の値段でなければ賣買を許さないこととし阿片製造人を保護したのである。而して阿片製造人から提出した阿片は指定製藥者に賣渡し現品の引渡を爲すことゝしたので、不正に使用せられ又は不正に貯留せらるゝが如き虞は絶對にないのである。

二、今回の制度改正で阿片の鑑定に對し一定の手數料を徵收することゝし收入印紙を以て納入することゝなった

三、阿片製造人の製造した阿片は從來土地の遠近に拘らず悉く納め所へ納付せしめてゐたのであるが之れが爲僻遠の地に於て製造する者は甚しき不便を感じてゐるのであるに今度の改正に依つて所轄警察署へ提出するとなったので阿片製造人は之が爲多大の利便を得ることゝなつたのである

大連博に
朝鮮から出品

八月より開催の大連勸業博覽會に對し朝鮮より出品する點數は左の如くである

▲京畿道一〇七▲忠北九▲忠南一〇▲全北二二▲全南三七▲慶北二二▲慶南三八▲黄海道二〇▲平南四二▲平北一四▲江原三五▲咸南九▲咸北一〇▲營林廠一五▲專賣局五

合計三百七十三點である

合同なんか手緩い
焦り始めた政友會
本黨切崩しを畫策

【東京電報】加藤首相は愈々二十九日の閣議に整理案上程に決したが之に對し政友會では政友本黨との合同を策してゐるが本黨の態度が曖昧で容易に形がつかないので茲に政友會は本黨の内の合同論者を切崩し之を政友會に合同せしめ政友會が第一黨となることを秘密裡に畫策してゐる譯である

英國側の逆捻ちに
支那益々憤る

【重慶廿六日發電】重慶南岸に於て英國水兵が支那學生數に死傷者を生ぜしめた事件に關する交渉は四川省長より加害水兵の處罰を在重慶英國領事の謝罪等六箇條を申込んだが英國領事は正當防衛なりと主張し一箇條を聞き入れざるばかりか二十四日英國領事は避難者の家宅や水兵集會所の器物を掠奪する支那兵が絶えないから自衛上陸戰隊を上陸せしめるがその結果については依ってその責任を求むと照會したと四川當局その責に任ずべきであるは四川當局は學生死傷問題に關し憤慨して居る際この挑戰的申込みに對し益々激し軍民共に開戰を辭せずと形勢不穩を極めて居る、これに對し英國砲艦ワイジョン號は現に敍州で四川省議にある外人三百廿名を收容中で之も開戰を辭せざる態度である

山道杉浦兩代議士

憲政會代議士山道襄一、杉浦武雄兩氏は二十八日朝自黨を代表し朝鮮の水害見舞の爲め入城總督府を訪問山道氏は朝鮮ホテルに杉浦氏は龍山元町磯野井氏宅に夫々滯在中である

御慰問使の動靜
永登浦から麻浦方面へ
水害地の視察を終り
あすは李王殿下御訪問

龍山鐵道官舍にて晝食された海江田侍從には生田內務局長、時永京畿知事、安藤京畿道警察部長等の御案內で一行と共に午後一時二十五分自動車にて龍山警察署、龍山驛着、一時四十分發の特別列車で永登浦に向ひ同五十分下車、始興郡守、永登浦警察署長、內官署職員、消防組、公職者、數多靑年團等の出迎へを受け、永登浦驛長及び驛區所長の功勞等に付き逐々說明を聽取しつゝ、永登浦公立普通學校、鐵道官舍、紡織會社、公立小學校、永登浦被害地、防水堤、朝鮮皮革會社の順序で熱心に視察し三時五十分自動車で麻浦に引返し麻浦水害地の被害狀況を視察し水害地より四時四十分龍山署で仕立てた渡船にて麻浦に

渡江 され直に公立普通學校に入って公職者、各種團體、數多靑年團等の出迎へを受け、御慰問

年寄館を視察し東部方面の遊覽說明を聽取などされて自動車にて七時朝鮮ホテルに歸着され是にて京龍附近水害地の御視察は一通り完了したので二十九日は午前中に京城諸官衙並に李王殿下御訪問、其他市中を觀察される御豫定である。

遞信事業被害
狀況を聽取

二十八日午前八時五十分龍山電話分局に御着された海江田侍從には京城郵便局長、電話局長等出迎へ直に遞信局にて遞信局長以下各課長、遞信局長より今回水害に依る遞信事業被害狀況の一般に就き說明し更に局內浸水の實況を說明し侍從は玄關前にて一同の見送りを受けられ九時十分軍司令部へ向はれた

各地溫度
二十八日正午

大邱	七五、二
平壤	八六、〇
龍岩浦	八〇、六
雄基	七三、四
元山	八七、八
江陵	八〇、六
京城	八六、二
仁川	八〇、六
木浦	八二、四
釜山	七八、八
長崎	八六、〇
下關	八六、〇
東京	八四、二
[illegible]	七七、〇

棒値紛擾
總解合が不徹底

京取總解合決定後午後四時十五分頃から後場立會を開始したが解合が徹底しなかった爲め市場代理人や外交員に徹底しなかった爲め場面何となく殺氣を帶び開會劈頭京取に解合棒値の十八圓五十錢を付けた鼻頭いて買物續出し十九圓から二十圓と買上げた爲め棒値の木を入れることが出來ず場面再び混亂を呈し忽ち立會停止となり高場仲買連中と三つ巴の紛擾を演出したが結局其場は有耶無耶の裡に納まり更に京取十八圓五十錢と解合棒値を付け大新に八十一圓二十錢と付けたのみで立會時間僅かに十五分にして四時三十分散會した

京取總解合

京取仲買組合では廿八日午前十一時から臨時總會を開き京取總解合に付仲買全部に市場取引部臨時役員たる総会議を開き午後三時三十分まで協議を凝した結果左の如く總解合に決した

一、京取建玉に對し總解合すること但し棒値は一株十八圓五十錢と定め精算すること

棒値の決定には買方より関田、洪柱、金秀、賣方より南市川、宗岡吉見の諸氏を副委員長より指命し之れに依り棒値を十八圓五十錢と決定

一、解合株に對しては渡し株不足に付受申告に按分し端株六分を開設てること

人事消息

▲淺野健一氏(殖産局技師)慶南へ出張中二十八日歸任
▲大田宗二郎氏(東京三井鑛山技師)二十七日入城備前屋へ
▲檜山一雄氏(同上)同上
▲食堂貫一氏(朝鮮釜山支店船舶課長)同上
▲手塚岸蔵氏(自由教育主唱者)同上

茶話

水害の一調査の報告(?)四四六大、行方不明一一、人家崩壞一一、三八八戶、浸水四五、一六五戶▲更に堤防破損一、五〇〇間、田畑流失一〇、四四〇町步、同浸水一三三、〇二〇町步とある▲どうです此の損失額はメノコ算用では一寸見當はつきませんぞ▲が然し水害もう第二期だ、次に恐るべきものは傳染病だが徒らに神經を尖らしてもならぬ▲と同時に何時までも水害氣分でぼんやり天を眺めて居るのも大禁物、さあお互に働いたく▲憲政代議士山道、杉浦兩氏の入城▲時節柄世はさまぐくと揣摩憶測をなすものあり▲だが心配は決して御無用、兩人とも自黨を代表して遙々朝鮮の水害見舞に見えたものだ▲面會したらお禮でも云ひたまへ

京日案內

銘仙 監督販賣 美術精巧 永代實用 五反迄 字十五字詰五行一回金五十錢 但し以上一行増す毎に廣告料金加算

店員 入用年齡三十才以下 內地人に限る確實なる保證人を要す 龍山三角地 近江屋洋服店

代診 通勤に限る 市內開業病院 各科 有家族の醫師 京城府南大門通 市內船橋町三ノ一八 河邊方 ケーエム宛

代診 一名 見習生入用 在京城日報仁川支局 姓名

看護 婦又は見習看護婦採用御希望の方は御來談ありたし 京城本町三ノ一八 鳥 病本三二七四番

ミシン の御用は必當社へ 本町二丁目 シンガーミシン機械會社 電本二一二五番

家具 陳列が出來上りました開店記念のため御引立致します 岡崎町八拾九 乙地 刑務所製品販賣 電話龍山六九八番 日鮮商會

男女 販賣員募集 水洗マッチ 朝鮮中央總代理店 京城櫻井町壹丁目 高見芳一商店

公債 金融時價の九掛まで 各公債勸業債券高價買入れ 京城府古市町三五 江州屋木店 電話本局六九〇番

公債 特に高價買入地方行 御照會次第返信す 京城明治町郵便所筋向 竹下金融部 電本二二四〇番

公債 證券特別高價買入 遠近多少に拘らず 京城府黄金町三丁目 古物商平次賀源部 電話本局六七六振替京城三九四〇

株式 明治町壹丁目三七 萩野顯助商店 電本七六九番

恩給 三ヶ年以上即時立替 京城府黄金町二丁目一四八 商品陳列館前 電本局三七六九番 三ッ池商會

恩給 立替即時取引 公債賜金保管通帳債券買入れ 京城府古市町三五 電話本局六九〇番 江州屋木店

恩給 年金(扶助)手數料利子格安長期即時立 京城竹添町一ノ八二 西大門小學校裏門前 下車四大門發 電話光化門一八四三番 長興商會

恩給 長期立替 京城大和町二丁目五二 渡邊

恩給 年金扶助料手數料利子格安長期立替 京城府兵町山三ノ四號 向紡績工場電車停留所前 高陽會融 右側藤田工場 武田商會

外勤 員急速募集有經驗者無經驗者共に採用内地人年齡三十才以上 希望者は大正生命京城支部へ 前中來談の事 永樂町二ノ七八

新疊 表替各種上敷花莚 請負業者は家主表替特別勉强仕候 京城黄金町三 電本局七八番 金崎商店

リネ オカードの名刺と帳簿の要は能率增進事務簡捷なる特殊方式は御勸めに随す 御報次第参上 電本二四八番 京城本町四ノ二 道田

古綿 打直し 罹災者に限り綿打直し致します 御報次第参上 岡崎町 井上製綿所

雜木 板(鮮地)キハダ、胡桃(其他各種)新入荷安價提供 京城古市町 朝野商會 電本二一八一番

貸電話 御必要の向は本局一七〇三番へ又は御來談あれ 明治町二 商業通信社内 金井

家求 西大門附近に聞數多き閑靜の家を求む 姓名在社

尋犬 純アイリシュセッター 牝生後七ケ月 首輪有 手製平皮 發見通知者へ相當謝禮す 本町五ノ四四 田村 電本局二九六番

日本で一番よく賣れる オリエントレコード 八月新譜賣出し

必ずお氣に召す新譜 高級でお安く無類に面白い 全國到る處の蓄音器店に取揃へて御座います。 目錄には此種面白いレコードが豊富に御座います、是非御近所の蓄音器店へ御申込下さい。 八月新譜御案内カード呈上

長唄 松の緑 文化三 杵屋
長唄 吾妻八景 芳村 杵屋
觀世流謡曲 杜若 林
同 鸚鵡 隅田川 林
同 放下僧 林
ソプラノ 越後獅子
獨唱 メフィストフェレス アンドレア シエニエ ウンパツロ インマスケツラ
特別新譜 映畫劇 夫婦船頭(小唄入り) 松本英一 松本 鈴木 柳 横山
新派劇 雲の叫び 松濤 和歌浦
浪曲 貝づくし 河内音頭 芋の說教 お文章さん 砂川
小唄 わが戀龍ぎ 宮薗節 山村
同 箱根八里 金玉節 新内 高吉
同 米山甚句 都々逸 (浪花節入)
同 三ツ組 私に強ひたくば 喧嘩さ
八木節 國定忠治
節 赤いばら 人の命
浪曲 茶屋まくら
曲 曾我兄弟 家庭
歌劇 結婚前後
お伽 花ちゃんの繪本
時代劇 坂崎出羽守
管弦 森の鍛冶屋 愉快なる鍛冶屋
小唄集 鴨緑江節 小唄 花園の戀
尺八 鶴の巣籠り 博多節
筑前琵琶 扇の的 勸進帳
浪花節 赤城の血煙 小田小右衛門 孝子正宗
シワ印超特別發賣 歌舞伎レコード 一谷嫩軍記 河内山宗俊 中村吉右衛門 市川 中村
株式會社日本蓄音器商會

龍山の電話抽籤
公益用
範圍を
船頭さん溺る
腸チブス患者

加入者の割合に當籤者を按分す

を籤引するに決定したは既報の通り京城中央電話局にて抽籤を執行したが其抽籤方法は全加入者を一括して抽籤するときは當籤者が一部に偏する虞あるので遞信局では調査の上三百五十名の内に九十九名を要として龍山分局區域を十八區に分け加入者の割合に依り當籤者を按分することゝし各區域毎に抽籤したが當籤者數は左の通りである。山手町、岡崎町三▲元町四、淸水町五▲三坂通二▲元町一丁目一▲同二丁目二▲同三丁目一五番地二▲同一六番地九▲京町五▲彌生町、錦町九▲榮町九▲青葉町西界洞九▲西氷庫、東氷庫、二村洞、漢江通三▲桃……

二十三日京畿道警察部……行方不明となつたが……

水に戯るゝ人魚の群（蒲田の女優さん達）

陸軍機に導かれ 兩機平壤に着く
觀衆の歡呼を受けた四勇士 出發は今朝六時

【平壤電話】訪歐飛行機は午後二時五十分平壤飛行聯隊の歡迎飛行機に導かれ無事飛行場に着陸した、歡迎のため參集した一萬餘名の一齊に擧げる歡聲の裡に各飛行士機關士は機を降り自動車を驅つて飛行場を一周し觀衆に挨拶をなし歡迎會場に向つた會場には總督代理小島事務官、軍司令官代理松井軍參謀、依田後援會長其他官民有志三百名列席一行の壯途を祝し成功を祈願した斯くして總督軍司令官二十師團長、遞信局長其他よりの花環を贈呈後援會よりの記念のメタルを贈り盛會裡に散會し四勇士は將校集會所に少憩平壤記者團の心盡しの接待で茶菓の饗應を受けた。出發は今朝六時の豫定

飛行隊の 歡迎飛行
宣傳ビラを撒く

【平壤特電】平壤飛行聯隊では午前八時より四機の飛行機を府の上空に飛翔せしめ『訪歐飛行の行を盛んにせよ』『國民的壯擧をして完全に遂行せしめよ』と云ふ意味の宣傳ビラ數萬枚を撒布し且絶えず平壤近郊及中和黄州附近の上空を飛翔して二機の東道を兼ね歡迎飛行をした

訪歐機 姿を見せず
釜山府民失望

【釜山支局特電】大阪朝日の訪歐機二機が二十八日朝釜山の上空を通過すると言ふので兩機の雄姿を見んものとこの日の釜山府民は狂喜して待つたが午前八時十五分太刀洗出發の電報がついたのみで遂に姿を見せず一般觀衆は悲觀してゐた

水泳競技中に 魚雷が飛込む
青年團水泳競技場に 試驗發射の魚雷

【吳電報】二十六日午後四時頃吳市外加茂郡阿賀町字大入海岸で同地青年團員約二百名が水泳競技を行ひ多數の觀覽者を加へ近郷から來た者も多數海水浴をしてゐたが同地吳海軍工廠大入魚雷發射場から試驗發射を爲した二十一インチ魚雷が發射場沖合十四五間の所から急に左に曲がりアワヤといふ間に同水泳競技場に進み競技觀覽船の船腹を打ちぬき更に水泳中の競技者の海底を潜り拔け觀覽船の横を打ち驅し砂原に乘つて止まつた一時は非常の騷ぎを演じたが幸ひに負傷者は免れた

鱶が一番怖い
海峽橫斷について 岩田氏下關で語る

【下關電報】朝鮮海峽橫斷の壯擧を試みる岩田鼓氏は廿七日午後十時下關着二十八日小手調べとして關門海峽一哩四分の一を三十分で橫斷し同夜は門司に一泊二十九日佐賀縣呼子に向ひ三十、三十一の兩日は休養愈々八月一日壯擧につく筈であるが氏は語る

呼子出發は八月一日午前五時の豫定であるが潮流を見た上多少變更するかも知れぬ世界的橫斷水泳のレコードはドーバー海峽で自分のレコードは熱田島狩間五十四哩を廿四時間で泳ぎついた事だ今回の橫斷中一番長距離は佐須奈釜山間四十二哩で十八時間の見込であるが熱田島狩間は內海で潮流も緩漫であるが佐須奈釜山間は荒海で且大きな鱶が大群をなして居ると云ふから之に出會したら命がけで此上もない恐しさうと云ふ事だ

新規時き直し

孝行娘が働く 母子水入らずの家
もう〳〵水には懲りました 避難者の移り先きを訪ねて……(2)

旭町一ノ一五の露路の奥に四軒長屋の一軒を借つて入つた母一人娘一人の氣の毒な罹災者がある。林ヤエさんといふ五十二、三位の年輩で廿二の娘さんは鐵道に通つてゐるとのことだ元町三丁目に住んでゐたヤエさんの家は

家財諸共すつかり流さ

れて全くの裸一貫になつてしまつた。けれどもヤエさんには働いて送つて與れる孝行娘があるので鬼に角暮しに困るやうなことはない さゝやかではあるが母娘二人は水入らずで旭町一五番地の借家に落ちてゐる。幸ひなことには一軒隣りの鑑見方で非常に親切に御飯を拵へて與れ三度のご飯も鑑見方で喰べてゐるといふ有樣だから事實上は同家の居候といつた調子である

まあ御親切に有難ふ

ヤエさんは鑑見方にゐた「御座います何と申上げていゝやらさつぱり譯が分りません。もう水には懲り〳〵しましたからこちらの方に永住する考へです。娘が働いてくれますので之から又新規蒔き直しでぼち〳〵娘の稼ぎで生活をせねばなりますまい」とのことだつた

本町が近いと喜ぶ子供

南山町一二の三二に空いてゐた二階建の一棟四五軒が一ぺんに塞がつてしまつた。そしてどの家を見ても二階から屋根上まで家中洗濯物をみたやうに干しならべてある。聞けば此一廓は避難者の借家になつたのだ。其一軒に入ると龍山鐵道員の鑑畠といふ人の家だつた。奥さんが丁寧な禮をして出て來て『全くお話しになりません、移つて來てから二、三日といふものは

五人家族揃つて他所様

で御飯を頂きました。たつた一枚の毛布しかないものですから仕方なくやつと夜具を二三枚新調しましたその代り水に浸つた疊蒲團十五枚に夜具蒲團十八枚をたつた二十五圓で古物屋へ拂ひ惜しい氣もしましたがその方が却てよかつたと今では喜んでゐます。三人の子供は本町が近くなつたからと言つて喜んでゐる位で休暇が明けましたら學校は電車で通はせねばならないでせう」

退院すると直ぐ水に逢つた

旭町一ノ七二に引越した同じく鐵道の千葉喜藏氏方を訪ねるとサキ子といふ、同家のお母さんが三人の小さな孫を相手に遊ばしてゐた。千葉さんの宅は九人家族で臨水にやられたのであつた。二、三日前二人共やつと退院し未だしつかりしないのに無理をして濡れた衣物などの手入れをしてゐる所で家中ごつたかへしの狀態だつた

米の小賣値
當分は一等 米四十九錢

京城精米小賣商組合は相談の結果市中米穀供給の圓滑を圖る爲め當局の諒解を得て本日より左の通り實施することを申合せた

一、七月二十九日より米價制限を撤廢す

一、公設市場及特設販賣所拂下米の小賣を廢止す

一、當分の內市中小賣一等白米を四十九錢とす

京釜京仁 兩線開通す
試運轉の結果良好

京釜線及京元線鷺梁津龍山間漢江上不通箇所は二十八日午前一時四十分二百七十四號機關車にて試運轉を爲したが無事通過して結果がいゝので午前二時三十五分第五列車を四時間後れて始めて通過せしめたこれにて十八日以來杜絶してゐた京釜京仁兩線の鐵道連絡がやつと出來上つた

同情の救恤品
佛蘭西教會信者の努力

佛蘭西教會信者會の大隈いち子夫人、伊藤、平山夫人たちは龍山水害罹災者救恤品募集の爲め去る廿一日から廿五日まで本町二丁目京町會館で信者會の令息令孃たちが熱心に通行人に勸誘した結果現金六十五圓、和服百十八著、洋服六十七著、シャツ、ズボン、足袋、靴下、教科書ノート等多數の同情者の寄贈を受け、信者會を代表して大隈、平山兩夫人が右寄贈品を取纏め廿八日午後二時京城府に府尹を訪ひ罹災者へ分配方を依賴した

北京漢口間不通
徒歩で連絡

京漢線（北京漢口間）新鄉驛附近（北京より六一四基）洪水のため鐵橋破損し目下徒歩連絡中なるが復舊の見込み立たず（鐵道局入電）

氷柱に煽風器で 能率の增進に努める
中央電話局の通話が 一日一萬通話殖えた

龍山局全滅に陷つた市內電話は一時一日八萬通話を突破したが今日では多少減少の傾向を示して來たが尙平均六萬で平時より一萬から增加である交換手の中には六十七名からの罹災者もあり之等の者は家庭の都合上缺勤する者が多いので電話局では酷暑の折能率の低下するを恐れ室內を涼しくして愉快に働ける樣に交換室に氷柱、煽風器を備へつけ能率の增進に努めてゐる。」

復舊材料が 雪崩れ込む
京釜線が開通したので 一日三十五六輛の貨車で

一時孤立に陷つた京城は二十日に京義線が開通してやつと食糧缺乏の驚威から脫したが二十日より二十四日までに京義線で持ちこまれた食糧木材燃料等の雜貨材料が千三百二十五噸二十五日以後は毎日六百八十噸乃至七百噸約三十五六輛づゝ這入つて來るそれに又二十八日から京釜京仁兩線が開通したので南の方から豐富なる材料の雜貨が一時に京城さして雪崩れ込んで來出したので京城貨物驛では大多忙を極めてゐる

つてゐては到底救ひやれない幸ひに對岸水道備敷の時は海軍の驅逐艇が警戒してくれると云ふから稍安堵してゐる

溺死せんとするを救ふ

【仁川電話】二十六日午前八時仁取支配人秋山彌夫氏は夫人同伴で月尾島海岸散策中臨海試驗水浴場北側沖にて一青年が激浪に捲はれ危險に瀕し助けを求めてゐるのを發見し氏は直に危險を冒して單身海中に飛び入り遭難者を陸上に救ひ上げ應急手當を行つた結果無事なるを得たが救助されたものは市內新町一八中學生荻原愛次（一七）であつた。

水害で各地から 五倍の金が來る
小爲替や電報爲替が 非常に殖えて來た

未曾有の漢江水害の爲府內各郵便局では府民の便利を計り郵便貯金の非常拂ひを行つたが京城、龍山の二局古市町漢江通、元町、往十里、纛島里の五郵便所で二十七日までに取扱つた

總計 は四千五百九十二口一萬四千四十六圓で罹災地に接近してゐた爲か古市町の十口千九百九十五圓を筆頭に南大門の三口千六百五十五圓が之について居る。尙各地方からの送金狀態を京城郵便局で調査して見ると通常爲替小爲替等にあつては

交通 不如意の爲平時の一日二千口より却て減少した位で餘り著しい增減を見出さないが交通機關が全通した今日は約五倍の增加で一日一萬一千三百三十圓で小爲替に於ても約平時の二倍三千六百五十圓で著しい增加である

電報 爲替は昨二十七日迄は二千五六百圓で平時と著しい變化もなかつたが廿八日は六千八十七圓で約二倍半の增加で局員は何れも目の廻るやうな忙しさである。

秘密を握つて 二萬八千圓を橫領
四十萬の資產を擁する 後家の不義の祟り

【大阪電報】二十歳の長男以下四名の子供ある廣島市船入町の四十萬圓の資產家吉野しづゑ（四三）は四年前夫に死に別れたが三十後家はまもれず一昨年新天地に興行中の熊谷武雄一座の秋田と云ふ男と醜を交えたところ秋田が飽く無心を云ふので下流川町雜貨商兵中佐技英藏妻ウノ（三〇）同町雜貨田米三の兩名に賴み秋田に手切金三百五十圓を與へたが今度はウノと米三が秘密を握つたのを種子に金一萬圓の借入を申込み現金がないのでしづゑを證人にたてしづゑの委任狀を僞造し吉野家の相續人悟の名義の宅地千二百坪を擔保に金一萬圓を借り入その他二名の男を手先に合計二萬八千圓を橫領したのでしづゑは面目なしとて郷里松江に歸つた

夏季學生傳道隊

基督教青年會東京學生部は夏季休暇を利用し傳道隊を組織し參加學生の信仰の向上を兼ね地方傳道の爲に渡鮮する事になりうち三名は鮮滿傳道の爲來る卅日（木）午後八時より旭町二丁目メソヂスト教會に於て左記の通り講演會を開催來聽歡迎の由

飛翔の凱旋 早大生 名取順一

全智全能の神 早高生 雁部三

運動界

日本選手勝つ

【倫敦二十六日發電】當地テニス、トーナメントのダブル試合にて日本選手淸水原田組は米人選手ドナルドン、ケンリッシヤ組を六對三、六對一、六對〇で破つた

卓球大會

パット倶樂部主催朝鮮卓球協會後援で八月二日午前十時から（場所未定）卓球大會を開くが會費は五十錢であると

十歳の少年
親の金を持つて家出

廿七日夜黃金町三丁目通りで十歳位の鮮童が十圓札で買物をしてゐるのを通りがゝつた本町署員が不審に思ひ署に引致して調べると少年の家は仁川で金擲域（一〇）と言ひ普通學校の二年生であるが去る廿六日父の金五十圓を持出して京城にやつて來て年上の鮮友と一所に活動に入營つて盛んに買食ひをしてゐたもので僅三十圓餘り所持してゐた同署で目下仁川署に身許を照會してゐるが十才位の子供にしては餘程膽の据つたものだと流石の警官も驚いてゐた

百姓の倅から大臣 小川司法大臣の立志傳 少年倶樂部八月號にあり 少年諸君は見落し勿れ 大附つき

山副氏は起訴猶豫
傷害事件落着

朝鮮新聞記者派山副栄氏に係る傷害事件は京城地方法院里見檢事の手で審理中のところ加害者山副氏は被害者側に謝し被害者に於て謝罪し檢事は起訴猶豫の決定を與へ將來不法行爲あれば今回の傷害事件と共に併せて處分すべき旨を諭して放免した

鮮人掏摸

慶州郡生れ李宙一（二五）は二十七日午前九時頃新龍山行電車中にて一內地人より現金百十九圓二十四錢京城驛より小倉迄の往復切符大人分二枚小人分三枚在中の財布を掏摸とつて京龍館前で電車と乘換んとするところを折よく行き合せた龍山署の警部に捕へられた

中等學校野球豫選
培材勝つ 10A 對 7 京師敗る

大阪朝日新聞社主催全國中等學校野球大會の朝鮮豫選大會は二十八日午前九時十五分から龍中球場に於て開催、參加校は京城、龍山、元山の各中學、京城師範、培材、高普及仁川南商業の七校で學務局長の始球式があつて石原（鑛）日置、須田（醫）審判の下に京城師範對培材高普の試合に移つた京師軍は終始壓迫を受けたが第八回に於て同點となるや、培材軍は同回裏で三點を入れ、京師軍の奮鬪も及ばず終に十A對七で培材の捷に歸した。閉戰午後一時。

京師（先攻）

SS	鈴木
RF	鄙戸
3B	指山
C	土閫
LF	宮崎
P	白濱
CF	中谷
2B	鈴田
1B	戎田

培材

C	金洛顯
CF	李世文
P	白基珠
SS	丁龍俊
1B	張炳善
3B	金尚潤
RF	林祀寧
LF	李龍楠
2B	沖鳳培

京師		培材
40	打數	33
12	三振	3
6	四球	7
6	安打	2
1	二打	0
3	盜壘	9
1	死球	1
24	失策	6

得點	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
師	0	0	2	0	2	0	0	3	0	7
培	3	2	0	0	0	2	0	3		10A

備考 ▲第六回 林退き朴中堅、李翼、李世左翼に入る。第七回 丁投手、白遊擊に入る。第八回 戎田投手、白遊擊一壘に入る。

京中7 仁商6
大接戰を演ず

京城中學對仁川南商業の試合は引續き午後二時十分から平木（球）須田（醫）兩氏審判の下に京中先攻にて開始、兩軍善く戰ひ十回戰七對六の接戰で仁商軍終に惜敗した、閉戰五時半。

京中（先攻）

P	岩城
LF	吉本
1B	細山
C	坂本
3B	響野
2B	土屋
SS	荒井
CF	田中
RF	濱水

仁川南

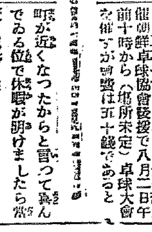
SS	重村
3B	石田
P	原田
LF	北市
CF	八木
1B	宮崎
2B	櫻井
RF	國岡
C	松崎

京中		仁川南
38	打數	36
9	三振	6
4	四球	4
7	安打	0
2	二打	0
4	盜壘	3
13	失策	8
2	犧打	1
1	死球	1

得點	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
京	3	0	0	1	0	1	1	0	0	1	7
仁	3	0	0	0	1	0	1	1	0	0	6

女學生が大歡迎 面白い少女倶樂部 八月號ぜひ御一讀

來青漫語



訪歐の二機、悠々の雄姿を見ずして北へ飛ぶ、御壯途の鵬翼、多幸であれ。健在であれ。」

◇

本縣では、水泳競技中に魚雷が飛込んだ。仲間にしては餘り呑氣千萬な魚にしては鱗大過、海軍の御方おどかしちやいけませんぜ。

◇

土用うしの日に、うなぎの話しが出た。洪水でうなぎが逃げたとか、イヤ却て澤山取れたとか、うなぎの話しだけに、つかまへどころがない。

◇

上海ではコレラが出た。朝鮮の戶締りはイヽかな。

耳鼻咽喉科專門 醫學博士 坂井清 坂井醫院 入院隨意 診察時間 自午前九時至正午 自午後三時至六時 電話 醫院本局一六四七 自宅本局一五八二 京城南大門通日本生命ビルヂング

奉仕的割引 水害特別扱 再三の水害で皆樣誠にお氣の毒な次第で御座います。罹災のお方樣に限り『水害特別扱』として規定の工料より特に割引する事に致しました。寸時も早くお手入をおすゝめ致します 京城明治町通り 電本局九六番

高級清涼飲料 別府サイダー 金色ポート 金色ブドー 釜山高島町十四番地 岡村商店 電話一五五六番

▼牛乳豐富▲ ◎小兒や病人は東洋唯一の ◎均質牛乳が最も適當です 京城東小門外 電光一三三 平山牧場

農閑利用の好職業 簡易ナル文化的外交收入多大 希望者郵券三錢封入申込アレ 東京市京橋區湊町十 國民法律學會

此の季節にはにんにくが一番 お弱い方は一お丈夫な方にも、是非必要な中外の大評判 ▲アルリー▼ の御服用を御勸めいたします。 定價 百八十個入（三十日分）金三圓 百二十個入（二十日分）金二圓 特約販賣 京城本町 龜屋 電話二七番

產婦人科 小兒科 遠山醫院 女醫 遠山瀧子 京城本町三丁目

愛兒の皮膚保全藥 シッカロール いつも湯上りにお忘れなく お用ひになればアセモが出來たりタダレたりしません 特にお兒達の皮膚を丈夫にするにはシッカロールに限るものはありません 定價 一函廿錢 四十錢 六十錢 二十錢 御近所の藥店にあります 株式會社 和光堂 本店 東京市神田區鍛冶町九 支店 大阪市東區南久太郎町二

梅毒病者に急告 獨逸製六〇六號二千本限特價提供 一本六圓一人に付き五本限りの事 當院は梅毒內科專門にて多年經驗を有し居り候今回獨逸製六〇六號澤山買入れたるを機會に聊か社會奉仕の目的を以て右記の通り特價にて提供仕り候希望者は郵便申込あれ 尙注射治療者は當附屬醫院に於て無料にて施行す 京城府黃金町一丁目百八十五 電話本局一六六〇番 柴崎仁壽堂支店 梅毒淋病專門 仁壽堂附屬醫院 ●梅毒血液檢査、尿檢査●診察每日朝九時より夜九時迄

品質優良 ぬいめなし蚊張 赤ぶき島枕蚊張 各種仕立蚊張 吉印のかや 廣巾蚊張地 地球美人印 龜甲紗 販路各地呉服店、雜貨店にあり 大阪吉製造元

二つの月 (83)

渡邊霞亭作　樋口富麿畫

魔の手（四）

「こんな事をしてはお延にすまない」

最近のお延の態度に對しては、少からぬ悪感を抱いてゐるけれど夫でも、彼女の胸に持つ心持を蹂躙つたわけでは無い。心から厭に思ふ時もあるが、また心から嫌しみを感じないでも無いから、はつきりお延に背くとなると、四方から良心が咎め出す。さうして『すまない〱』と責め立てる。太一はよつぽど久留米絣を謝絶して、お近のところへ歸らうかと思つた。

『坊ちやん、お着かえなさい、折角叔母さんが出してくれたのですから』

牛次は執拗いほどもすゝめる。さうなると一たん働き出した良心が萎込んで、微審な感情が市を爲出す。

『勝ちなつちや仕様が無いから牛次の言ふ通りにしやう』

一寸目をつぶつて、太一は立ちあがる。そして、着て居た着物を脱いで久留米絣の着物を被た。

『不思議に身たけが合つてるぢやありませんか、お誂へ向きといふのは此事ですわ。おほゝ』

老母はまた手の甲を口へ當てゝ嬉しさうに笑つてゐた。

『さあ、これで身装ができた、これなら何處へ行つても恥かしくない、ぼつ〱出かけませう』

牛次が腰をあげかける時、照子はすうつと這入つて來た。まだ十二時にもならぬ中に、照子が歸る筈がないので、誰よりも老母が驚いた。

『お照、どうしたの、どうしてこんなに早く歸つたの』と咎めるやうに聞いた。

『坊ちやんが待つてゐらつしやるだらうと思つて、わたし、大急ぎで歸つたのよ』

照子は、美しい目を斜めにしてちよつと太一の顏を見たが、すぐ歸へは行かないで、中の間の取り合せに置てた障子の外に立てゐた。

『わたしはまた照羅のお方に、厭なことを言はれでもしたかと思つたの。そんな事で歸つたのなら可いけれど……』

照子は、こんなに云つてくれる老母の方は見も返らず、太一の顏へすり寄つて」

『暑くなつたのでせう、坊ちやん。焼悶して頂戴な』と溢れるやうな笑ひを見せて言つた。

牛次は不足らしい顏をしてゐた。彼の望みはここにあるのぢやなかつた。ここで照子の歡待を受けて一夜を明しでもしちや大變だと思つた。牛次は照子によつて太一を誘引き出し、そして目的を遂げることができたら更に自分の思ふところへ伴れて行かうと計畫してゐるのだつた。最も照子が最初の考へてゐたやうに、自分の言ふ通りになつてゐてくれさへしたら、このまゝここに居るのだつたが、今のやうに、照子の方から太一を獨占し、太一の爲めに誠實を盡すのを念とするやうでは、太一の邪魔にこそなるけれど、太一の扶けにはならぬと見て取つたからだつた。

太一は恐ろしさの中に悦びを感じて『衣服を有り難う、今これをお母さんから借りたのです』――もつと聽く云ふつもりであつたらしいが、どういふものか顏に調が改まつた。

『でも、よく似合ひますこと、ねえ、鈴村さん』

牛次は點頭いただけだつた。

『お母さん、何か美味いもの取つてゐらつしやいな、坊ちやん、元氣のない顏をしてゐらつしやるわ』

牛次は、そんな事をされちや困ると思つたが、この場合止めることも出來なかつた。

『ちやん、お鮨文字でも取つて來やうね』

『何んでも可いわ、美味いもの、それからお酒――』

照子は、結婚の夜にでも望んだやうな悦びをもつて云つた。

太一は、それでも『すまない〱』と心の中にお延の顏を描いてゐた。老母は、がたこと云はせながら出て行つた。

學藝界

◇同民會夏期大學　地方の中心人物を養成する目的のもとに七月二十七日より八月五日まで十日間市內漢闌洞第二高等普通學校で開催。講師は里板博士、大川學士、篠田博士、野中學士、小田城大豫科學長その他十餘名、聽講生は八十九名

◇川端勝雄君　市內櫻井町二丁目三十　牛島川柳社の企てた醍賀川柳大會大募集期日は七月三十一日限り。詳細規定は二十八日夕刊五面參照。

◇美術工藝展覽會　今秋十月京都市岡崎町公園第二勸業館で開催する。規則其他詳細照會は京都市岡崎公園美術協會內京都美術工藝會へ

◇臼田亞浪氏（俳誌石楠主幹）山陰山陽の旅にのぼつた。來る十日ごろから三河渥美郡泉村江比間海岸に轉地し渥水亭に八月中滯在の筈

京日文苑　投稿歡迎

短歌【神】尾上柴舟選
俳句【運】內藤鳴雪選
川柳【泥】井上劍花坊選
〆切　八月十日
賞金　天一圓半地一圓人半圓
投稿　一回一人三句　各題別
用紙　用紙葉書　雜誌住所明記、京城日報社「京日文苑」宛の事
其他　各地會報歡迎

短歌　尾上柴舟選

『影』――（十一）――

秀逸　寺田　珍路（大阪）
白鷺の影を沈めて霄澄める朝の湖に嘗あらずけり

秀逸　今野千代丸（京城）
末の世のわが行く影も眼にみゆる羽後街道の秋風の中

秀逸　石井　龍央（京城）
ちら〱と並木の影の映り來る春たけなはの電車に乘るも

秀逸　澤　鯉子（京城）
一つ一つ影をたたふる大き花白木蓮に夕陽い照るも

秀逸　鶴　未知二（京城）
岩かげの澄みたる底に影おとし小魚泳げり流れをさけて

秀逸　山口みどり（京城）
窓の障子白むと見れば鳥籠の鳥動くらしほのかなる影

秀逸　槇谷　源村（釜山）
うららかに咲けるさくらに朧をやりて木影たぬしくひるげを食すも

京城俳句會（山興水報）

二三本木の立話下に生えのびし草　可耕
鷺吹流されて行く方へ飛んでゆく鳥
船の片側に陽あかりかみなる　兎角子
水汲みに下りて行く朝の鶏ついてくる
蚊を打ち夕べの雨やまず　鼠放
家外茄子を擣く一皿一皿出來る
月見宵實だ花の小夜ふけとなりぬ　宵李
けし花赤ひばつかりの朝
頃の朝顔の伸ぶ縁に日のさす　鵜人
此二三日隣の子に姿の見えなくなりし
燕箭の清水から來る人に揃ふ濯ぎ　雰閃
畑に人のゐる番小屋に籠ふ
螢狩くり出し池の面吹く風
茸の籠摘み捨てし濁ぎ流るゝ　山興水

清州川柳會（例會）

金冠城氏を迎へて

梅雨のペンキ色にに灯が點り　金冠城
風鈴が鳴るはと叩く受流し　觀知書
腰紐に小猫をじやらす病上り　久念坊
呼鈴に下女はうるさい顏で立ち
梅雨晴れて滿艦飾の縁に干し　落下傘
氷嚢を乘せて風呂に目を注ぎ
大波をあびて人魚の様に立ち　洋々
風鈴に吊床の子は醒めてゐる
四面波鎮ふて涼しい電鐵　町の人
鈴なりの枝に立て居ぎそう　笑我
電話線の紐よれる丈なしに　糧兵衛
チョンヌゲの女も山に登しめ　同

新しい出版物

我等の進むべき道　守屋榮夫氏著

過ぐる大正十二年の一ケ年を歐米視察に費した著者は惕然として感ずるところあり漫遊中或は歸朝渡ずる途中に書き溜めて成つた本書は世界の大勢、各國の實情を敍し我國の現狀に比較し將來を戒しめて曰、『從來我等は歐米心醉に過ぎた。極端な心醉から覺めよ。けれども狹隘に陷つて偏狹な一派の日本主義からも脫却しなければならぬ。そして大日本は洋々たる態度を持して世界恆久平和のため貢獻すべきである』と、その赤誠は言々句々に現れ人の胸に迫るを覺ゆる。本書と時を同じくして上梓された『歐米の旅より』をも參照して憂國の士の再讀に値する良著（三圓

二千錢東京小石川區大塚仲町三六蘆田書店發行）

◇共働一新學校教科書（吉川長之助氏述）著者が貯金一新匿名組合の創設者としてその創設までの半生における苦驗より體得した活教訓である。著者は本書によつて共働一新學校の生徒に自己の眞精神を吹き込み同じく活社會の勝利者たらしめんとしてゐるが一學校專用の教科書に用ふるのみで葬るのは惜しい（非賣品東京京橋區鎗屋町共榮社發行）

◇萬病一原論（藤井玄對氏著）諸病に驚くべき特効ありといはれてゐる藤井玄對氏發明にかゝる藤井式眼病治療法についての講話の要領を摘錄せるもの（非賣品東京神田區田代町發正閣發行）

▲婦人世界（八月）誌上家庭納涼大會には我子に對する理解、漫畫物語傳易避暑地、家庭奇想天外や講談落語第一讀京味を覺えしめるその他避暑地の撰擇、安藤護教氏夫人の內助物語、加藤子爵夫人の親心、愛兒を思ふて彼獨島里の旅へ、直ぐ役に立つ家庭實用記事など豐富（五十錢東京京橋實業之日本社）

▲童話研究（四の四）世界童話研究の權威蘆谷蘆村氏の主宰する隔月刊行雜誌本號には『童話作家としてのアンダアゼンの優越性（蘆谷重常）童話の文章（今澤慈海）現代支那童話の研究（久保芳太郎）』をはじめ童話に關する記事を滿載してゐる（六十錢東京府下高田雜司谷鶴原卅一日本童話協會）

▲ツーリスト（一三ノ四）避暑地案內、日本アルプス案內、海外渡航案內、旅行記等を收め英文欄をも設けられてある（六十錢東京驛內ジャパン、ツーリスト、ビユーロー朝鮮出張所發行）

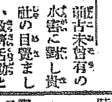
▲社會科學（八月）社會科學に於ける方法二元論、英國マーカンチリズムの興隆及衰滅、官奴司考や主要論文及著書解題其他（五十錢東京芝區愛宕下改造社）

▲小學クラブ（八月）兒童のためになる記事のほか圖畫寫譜綴方等兒童の優れた作品で賑つてゐる（三十五錢東京麹町區三番町共社）

▲我觀（八月）帝國主義の蠢選、對支同情の徹底、人材評價の規準觀聽想其他（三十五錢東京麹院前島ビル內共社）

▲實業之世界（八月）五十錢東京芝區櫻田備前町共社▲朝鮮實業俱樂部會報（七月）非賣品京城南大門通一丁目共俱樂部▲未來建築雜誌（七月）六十錢東京神田區鍋町アーチ三纈道時報局內シビル社▲實業之大阪（七月）三十錢大阪市住吉區天王寺二三〇八共社▲札幌帝國大學農學部▲養鶏の研究（八月）三十錢名古屋市中區南武平町共社▲金融と經濟（七月）京城南大門通二丁目殖産銀行內朝鮮經濟協會

讀者領分



◇龍山古未曾有の水害に對し貴社の目覺ましい救濟活動と信用ある御社を通じて諸篤なる慰問金品を賜はりし篤志家各位に對し罹災者一同衷心の感謝を捧げてゐます私共は將來に努力し御厚情に報いる覺悟です（漢江通りの罹災者代表）▲今回の水害により八月施行の普通試驗の第一部第二部朝鮮語獎勵の各試驗は九月に延期されん事を切望す（受驗者）▲鑑選官舍を安全なる學區山の丘陵に移轉されんことを望む（鑑選罹災者）▲旭町の小間物屋さんかびのはへた菓子を普通値段で賣るとは不合理です小供が行くと何時もやられます（南大門通りやられ生）▲猿の黒錢いた一人ですが署前から賣り出して居たと思ひます同市の市役所にでも問合せたら分りませう私は士へに頼んで渡りました一四分八十錢でした何十年前（鍾路ノ女）

經濟欄

鮮銀整理案に

【東京電話】鮮銀整理に關し大藏[illegible]府が既認の鮮銀整理案に八月中鮮銀大株主會を[illegible]經理に就ては總會に大株主の[illegible]

理事者は無策の策

[illegible]

大邱　一番九月中四一圓七七[illegible]

確實奏效
キりん病　メ早キ藥
リベール
惡性用特製 五日分二圓 十日分五圓
輕症用 五日分壹圓 十日分貳圓
大阪東區南久寶寺町二丁目　藥劑師 竹村幸太郎
竹村製劑所
振替大阪六六三〇・電話船場一五三二
●全國有名藥店にあり

演藝案內

黄金館　帝キネ共營　毎日晝夜
七月二十七日封切公開
現代劇　ゴーモン週報　全一卷
滑稽　巴里のチヨツジ　全二卷
帝キネ芦屋作品
現代劇　二人の父　全五卷　小島洋々、久世小夜子共演
ユニヴアサル特作品
冒險活劇　勇敢なる消防手　全七卷　快男兒フートギブソン氏主演
帝キネ芦屋超特作大奇傑
時代劇　桐野利秋　全六卷　市川百々之助氏の大活躍

中央館　マキノ營
七月廿八日より特別公開
マキノキネマ作品
現代劇　彼女の運命　前編　宮島健一、環歌子共演
マキノプロダクシヨン最近作品
大史劇　室町御所　全七卷　實川延松、マキノ輝子助演
東亞キネマ映畫
現代劇　天國への道　全六卷　吉川英蘭、金谷種子熱演
等持院連續時代劇
時代劇　落花の舞　後編　阪東妻三郎主演　月形龍之介、マキノ輝子助演　高木新平、泉春子

喜樂館　日活直營　電本五九〇七
七月二十八日より納涼大興行
□實寫　伊土戰爭
□喜劇　チヤンの大臆病　全壹卷
□ホドキンソン映畫　フイリーン、キャッスル嬢
□人情劇　紐育の踊娘　七卷
□日活第二部作品　夫婦なればこそ　六卷
日活第一部松之助十八番劇　三村豐、若葉馨、德川良子主演
時代劇　中山安兵衞　後篇　六卷　高田の馬場大亂闘

大正館　松竹共營　毎日晝夜
七月廿七日より　日本映畫大力作
ローマンス　南島の春　六卷　押本映治、三村千代子主演　武田春郎、小林十九二、松井千枝子、秋田伸一共演
清水宏氏監督特作品
時代劇　激流の殺闘　七卷　宗古國子、田中絹子、國島荘一、兒島三郎
フレッド、フアード映畫　ルイ、ガスニエ氏監督作品
パリスン、フオード氏の戀　春來りなば　八卷　シヤン、タラボウ孃主演

惡疫の流行し易き夏季の家庭には本劑を常備し朝夕服用腸胃の强健を圖り又下痢止として應急の手當に活用せらるべし

效能　暴飲　暴食　水傷　食傷　腹冷　時候あたり　一般胃腸障害　消化不良　吐瀉　腹痛　下痢　腸胃カタル

下痢・腹痛・腸胃カタルの急治豫防良劑

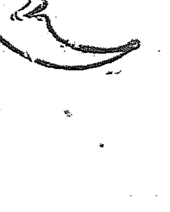
健胃固腸丸

定價　貳拾錢　參拾錢　五拾錢　壹圓　貳圓　參圓　五圓　拾圓

健胃固腸丸は數十年來家庭の常備藥として旅行の必携藥として夏季隨一の腸胃藥たることは世上の齊しく確認賞讃せらるゝ所なり

登錄商標
大阪市東區伏見町堺筋角　合資會社　谷回春堂　振替大阪一七〇番
▲服用し易き小粒健胃固腸丸あり▲
▲小兒には專門の小兒固腸丸あり▲

別世界
今までの暑さも疲れも何處へやら……
この涼味！
この快味！
夏知らぬ清涼の別世界



品質本位
花王石鹸の一浴によりて

朝鮮郵船定期出帆廣告
京城府光化門通三〇　朝鮮郵船株式會社
○仁川出帆（取扱店仁川郵船出張所）
芝浦丸　八月八日　東京行
漢江丸　八月二日　大阪行
[illegible]
○木浦出帆（代理店山野回漕店）
○釜山出帆（取扱店大池回漕部）
○元山出帆（代理店吉田回漕會社）
電話二八四、二八五　光化門二六六、二六八、四七　番

大阪商船株式會社汽船出帆廣告
○仁川出帆
大阪行（經由木浦釜山）
[illegible]
內地各港出帆主要航路
釜山支店　佐藤町　電長一六八、一八四　番
元山支店　海岸通　電長三〇四番
仁川出張所　海岸町　電長三五三番
京城代理店　內國通運會社　電本三二七、一九〇番

鴨綠江上流各地行
湖航新義州出帆
○新乫坡鎭行（七月中）
○楚山行（各地經由）
株式會社鴨綠江輪船公司
新義州常盤町三丁目　電話四〇番
同旅客待所合　新義州關稅內　電話六三八番